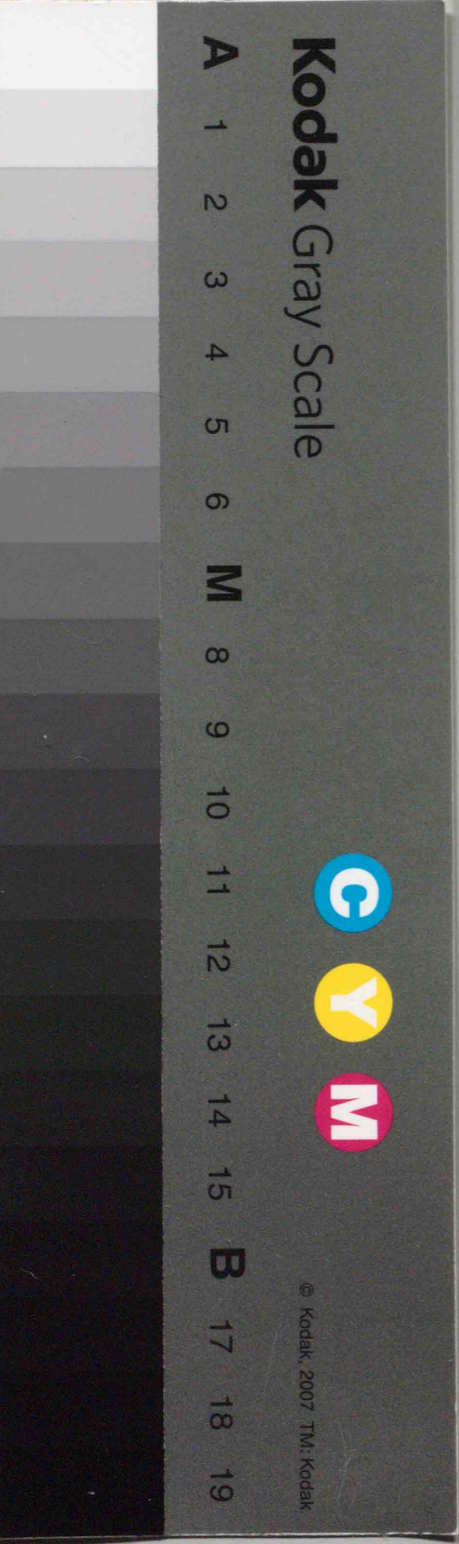
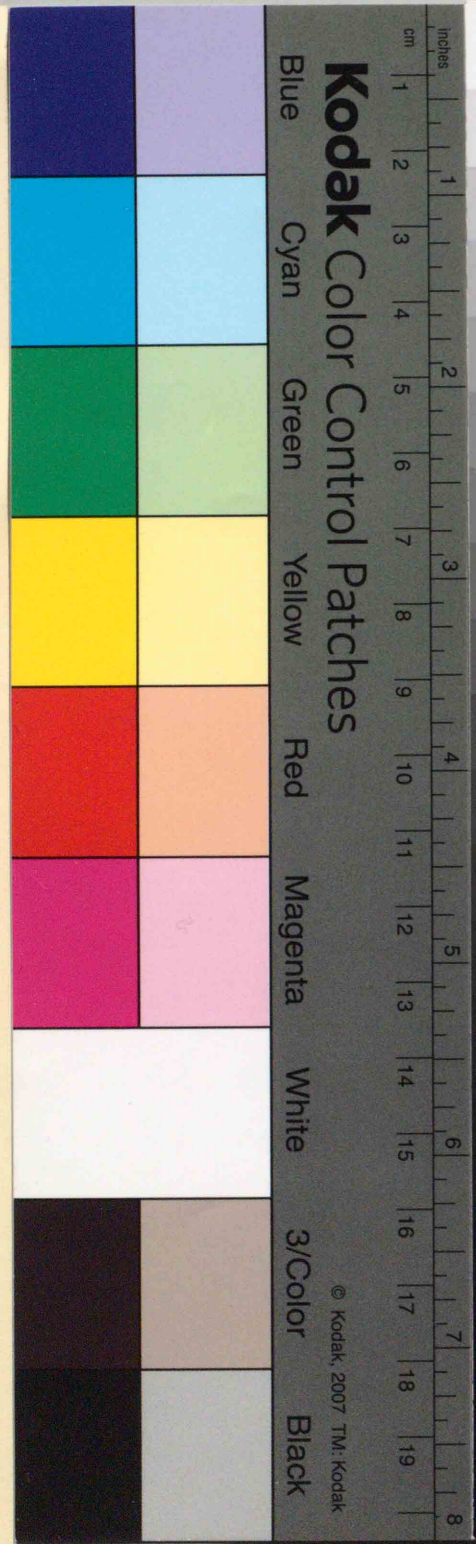


40752

教科書文庫

4
710
51-1923
2000.0 73445



4a
710
大11

濟定檢省部文
用科書圖校學範師 校學中 日三廿月一年二十正大

中 等
書 科 教 畫 何 嬰

画視透

版正修
士博學工
著一五田武



42
710
大11

資

改版

編者曩に中等幾何書教科書を編纂し
をなすを得たるは大に光榮とする所
助言に鑑み修正を加へて版を改め茲
挿畫は殆んど全部改訂をなし説明の
平面幾何書の卷に於ては新に圓錐曲
授の便宜上多少順序を變更せり透視
部を通じて數多の例題及練習問題を
本改版に當り故林茂久次及山崎競兩
する所なり尙懇切なる助言及批評を
の意を表す

大正十一年九月



改版に就て

編者曩に中等幾何畫教科書を編纂したるに幸に多數の採用を得て多少の貢獻をなすを得たるは大に光榮とする所なり今回實地教授に當らるゝ教師諸君の助言に鑑み修正を加へて版を改め茲に本書を公にす

挿畫は殆んど全部改訂をなし説明の字句に於ても多少の修正を加へたり
平面幾何畫の卷に於ては新に圓錐曲線の圖法を添加し投影畫の卷に於ては教授の便宜上多少順序を變更せり透視畫の卷に於ては建築物の透視畫を加ふ全部を通じて數多の例題及練習問題を増加せり

本改版に當り故林茂久次及山崎競兩氏の多大なる援助を受けたるは深く感謝する所なり尙懇切なる助言及批評を寄せられたる教師諸君に對し謹んで感謝の意を表す

大正十一年九月



編者識

緒 言

本書は明治四十四年七月文部省訓令第十五號中學校教授細目に基き中學校及其同等程度諸學校の幾何畫教科書として之を編せり

本書の最も注意せる所は幾何畫をして乾燥無味なる學科たらしめず其理論を習得すると同時に直ちに其應用法を知らしむるにつとめ併せて自在畫圖案幾何學等の學科と聯絡を保ちつゝ生徒をして自發的に幾何畫に對する興味を喚起せんと試みたる點にあり

理論作圖の説明等は極めて簡單平易なる形式を用ゐる實例として引用せる圖は縮尺を用ゐて手工及簡單なる工作用製圖を製作する際の參考たらしめ併せて幾何畫の實際的價值を知らしめたり

大正四年十月

京都高等工藝學校に於て

著 者 識

透視畫法

第一

第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

第九

校教授細目に基き中學校及
り
る學科たらしめず其理論を
つとめ併せて自在畫圖案幾
に幾何畫に對する興味を喚

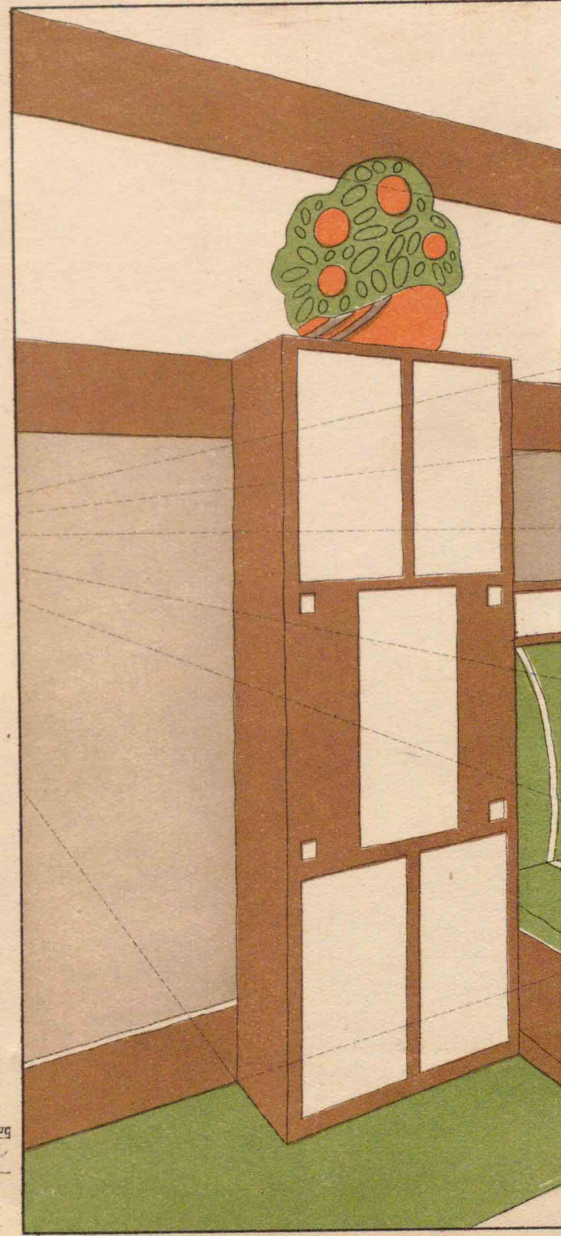
る實例として引用せる圖は
る際の參考たらしめ併せて

者 識

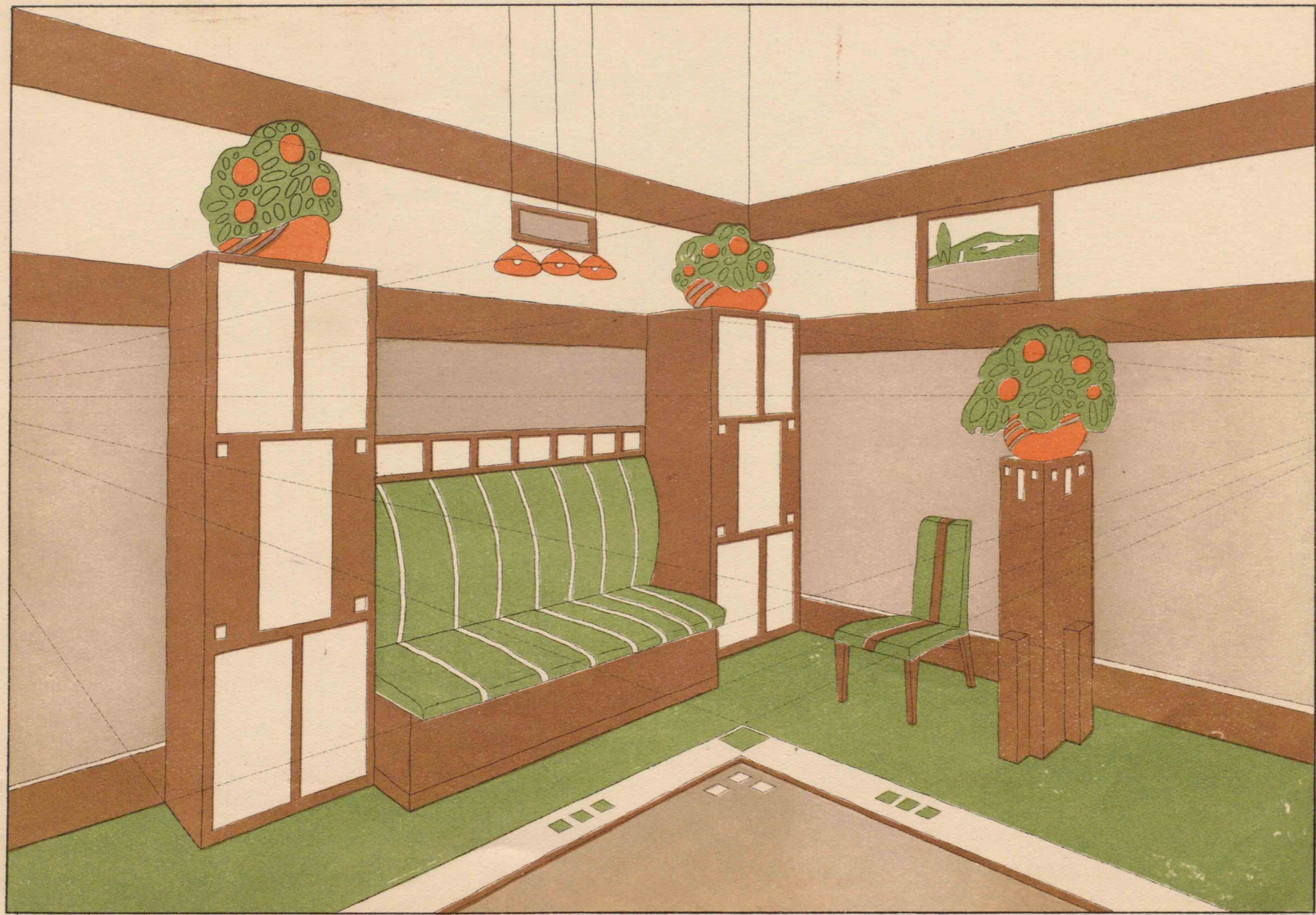
透視畫法目次

透視畫法

- 第一題 正方形ノ透視畫ヲ畫ク法
- 第二題 同上
- 第三題 同上
- 第四題 立方體ノ透視畫ヲ畫ク法
- 第五題 圓錐ノ透視畫ヲ畫ク法
- 第六題 立テタル屏風ノ透視畫ヲ畫ク法
成角透視畫
- 第七題 二個ノ正方形ノ透視畫ヲ畫ク法
- 第八題 立方體ノ透視畫ヲ畫ク法
- 第九題 家屋ノ透視畫ヲ畫ク法

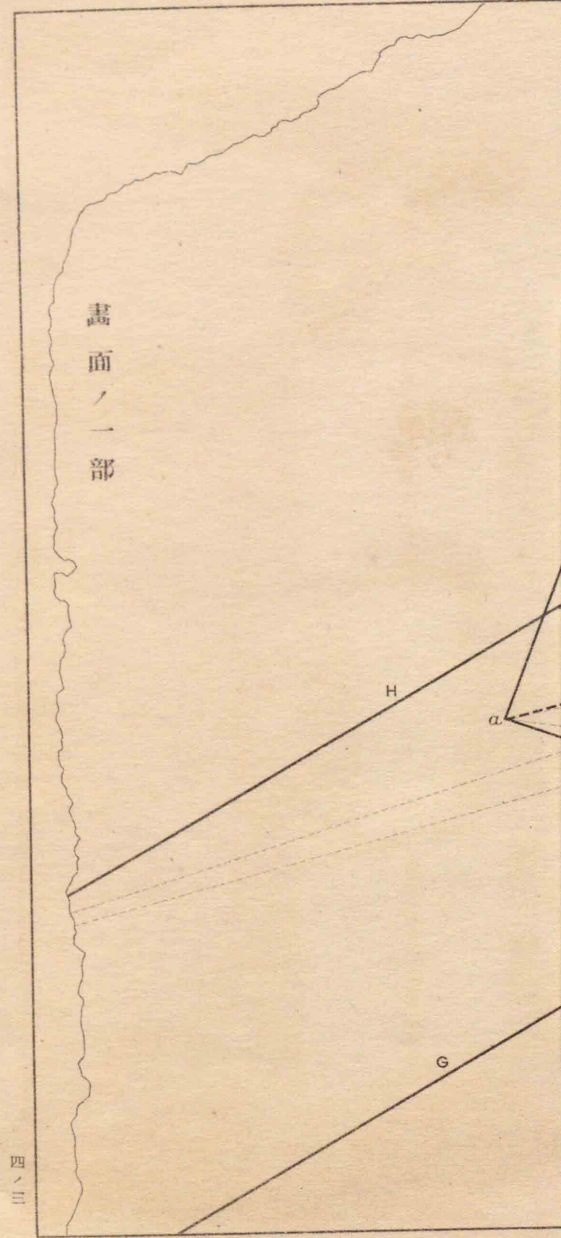


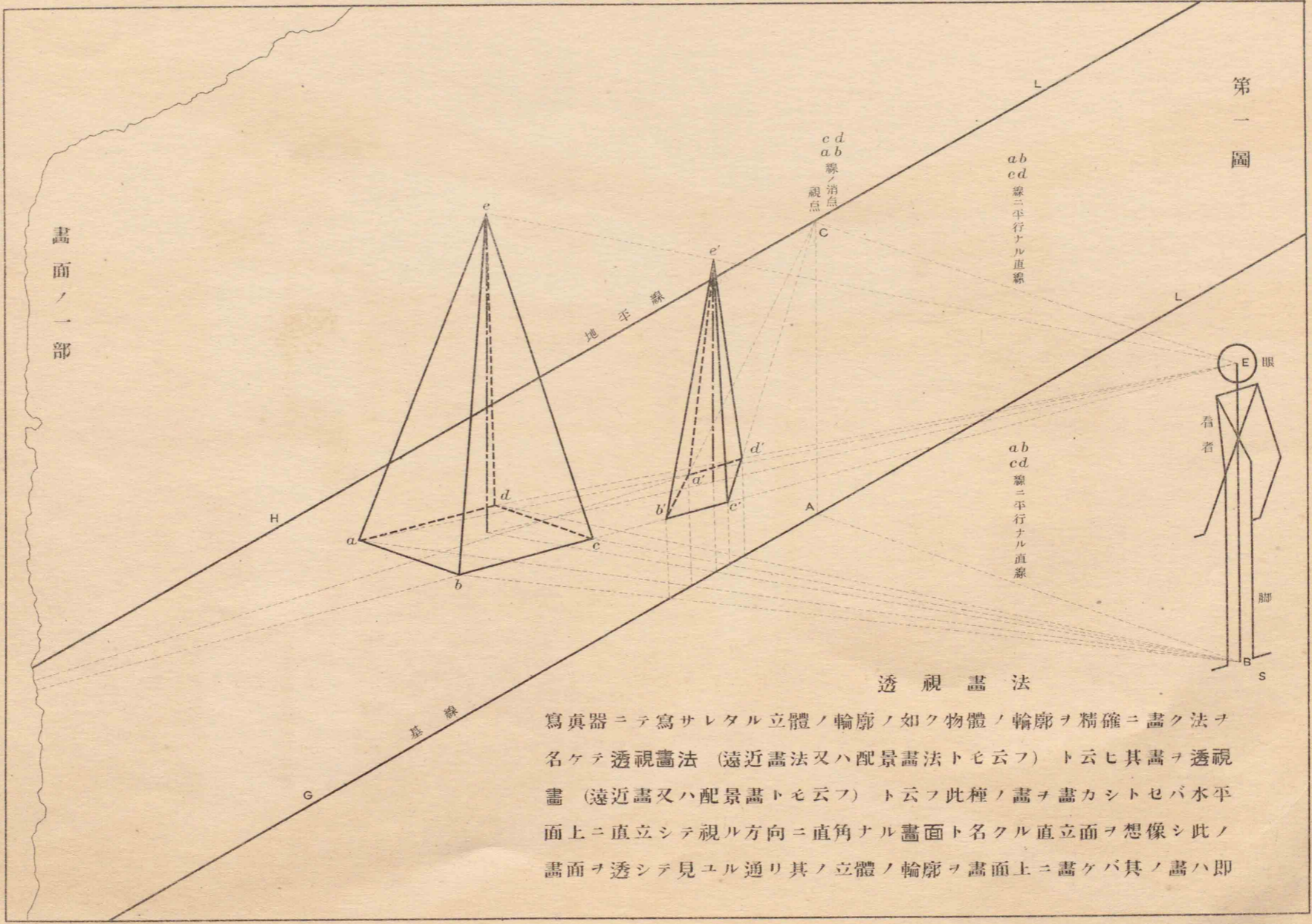
25
1



18

畫面ノ一部





畫面ノ一部

abcd 線ニ平行ナル直線

abcd 線ニ平行ナル直線

透視畫法

寫真器ニテ寫サレタル立體ノ輪廓ノ如ク物體ノ輪廓ヲ精確ニ畫ク法ヲ
 名ケテ透視畫法 (遠近畫法又ハ配景畫法トモ云フ) ト云ヒ其畫ヲ透視
 畫 (遠近畫又ハ配景畫トモ云フ) ト云フ此種ノ畫ヲ畫カシトセバ水平
 面上ニ直立シテ視ル方向ニ直角ナル畫面ト名クル直立面ヲ想像シ此ノ
 畫面ヲ透シテ見ユル通り其ノ立體ノ輪廓ヲ畫面上ニ畫ケバ其ノ畫ハ即

テ其立體ノ透視畫ナリ

第一圖ニ於テ $a b c d e$ ハ方錐體ニシテ $a' b' e' d' e'$ ハ其ノ透視圖ナリ

E 看者ノ眼

C 視點 (或ハ中視點) ト名ケEヨリ畫面ニ引キタル垂直線ト畫面トノ交點ナリ

EC 中視線ト名ケ其ノ長サハ看者ト畫面トノ距離ニ等シ

S 停點ト名ケ看者ノ立テル地平面上ノ位置ナリ

GL 基線ト名ケ畫面ト地平面トノ交切線ナリ

HL 地平線ト稱シCヲ通シ基線ニ平行ニ引キタル直線ナリ

D 距離點ト名ケ看者ト畫面トノ距離ヲ視點ノ兩傍ニ取リタル點ナリ

此ノ外次ノ符號ヲ要スルコトアリ

V 消點ト名ケ極遠ノ物體ガ看者ノ視覺ニ於テ其ノ大サヲ失ヒタル點ヲ云フ

M 測點ト名ケ成角透視畫ニ於テ直線ノ長サヲ測ルニ用フル點ナリ

透視圖ハ次ノ條件ニ由テ決定セラル

1. 畫面ト物體トノ距離
2. 看者ノ物體ニ對スル左右ノ位置
3. 看者ノ眼ノ高サ
4. 畫面ト看者トノ距離

地平面若クハ之ト平行ナル平面中ニアリテ畫面ト平行ナラザル平行線ハ其ノ透視畫ニ於テ必ス地平線中ノ一點ニ會ス
其ノ點ヲ其ノ線ノ消點ト云フ

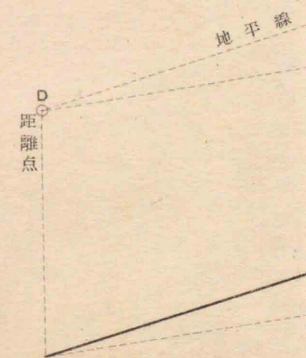
或線ノ消點ハ看者ノ眼ヨリ其線ニ平行ナル一線ヲ引キ其平行線ガ畫面ヲ貫ク點ト一致ス第一圖ヲ見テ知ルベシ

畫面ニ平行ニシテ地平面若クハ之ト平行ナル平面中ニアル直線ノ透視圖ハ常ニ地平線ト平行ナリ

畫面ニ直角ナル直線ハ視點ニ消失ス

地平面若クハ之ト平行ナル平面中ニアリテ畫面ニ四十五度ヲナセル直線ハ距離點ニ消失ス

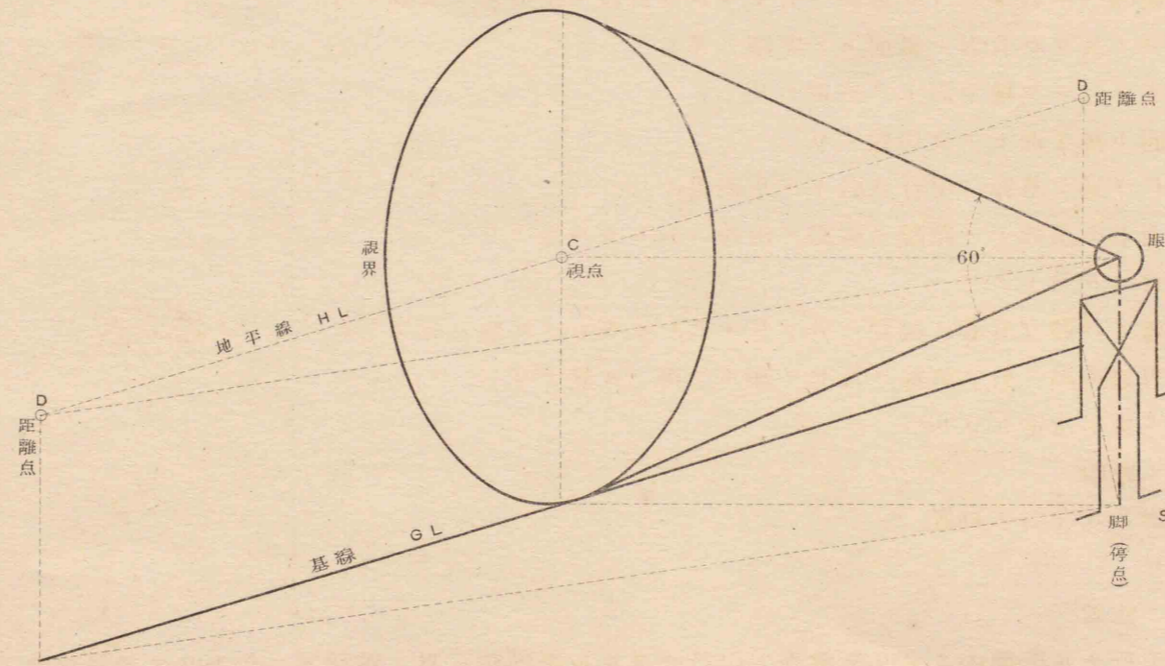
看者が眼ヲ轉ズルコトナクシテ
軸畫面ニ直角ヲナセル圓錐體ノ内



此故ニ看者ハ畫面ヨリ相當ノ距離
不自然ナル形ヲ呈スルニ至ル

看者が眼ヲ轉ズルコトナクシテ明カニ見得ル範圍ヲ視界ト云フ視界ハ看者ノ眼ヲ頂點トシ頂角六十度ヲナシ其ノ軸畫面ニ直角ヲナセル圓錐體ノ内ヲ云フ

第二圖



此故ニ看者ハ畫面ヨリ相當ノ距離ニアルヲ要ス (第二圖第三圖参照) 透視畫ハ此ノ視界内ニ畫カザレバ歪曲シテ不自然ナル形ヲ呈スルニ至ル

リ

トノ交點ナリ

リ

點ヲ云フ

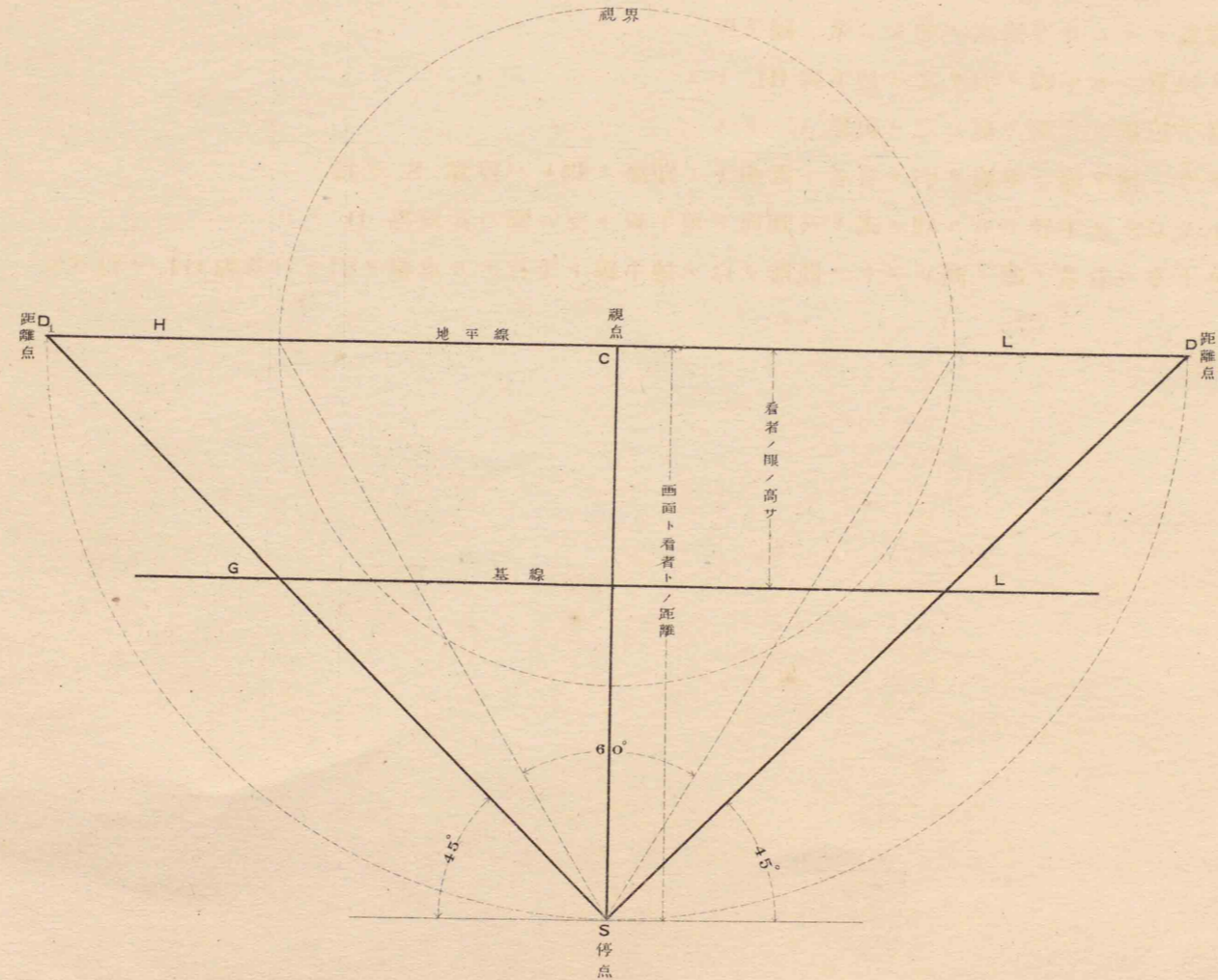
線ハ其ノ透視畫ニ於テ必ス地平線中ノ一點ニ會ス

面ヲ貫ク點ト一致ス第一圖ヲ見テ知ルベシ

視圖ハ常ニ地平線ト平行ナリ

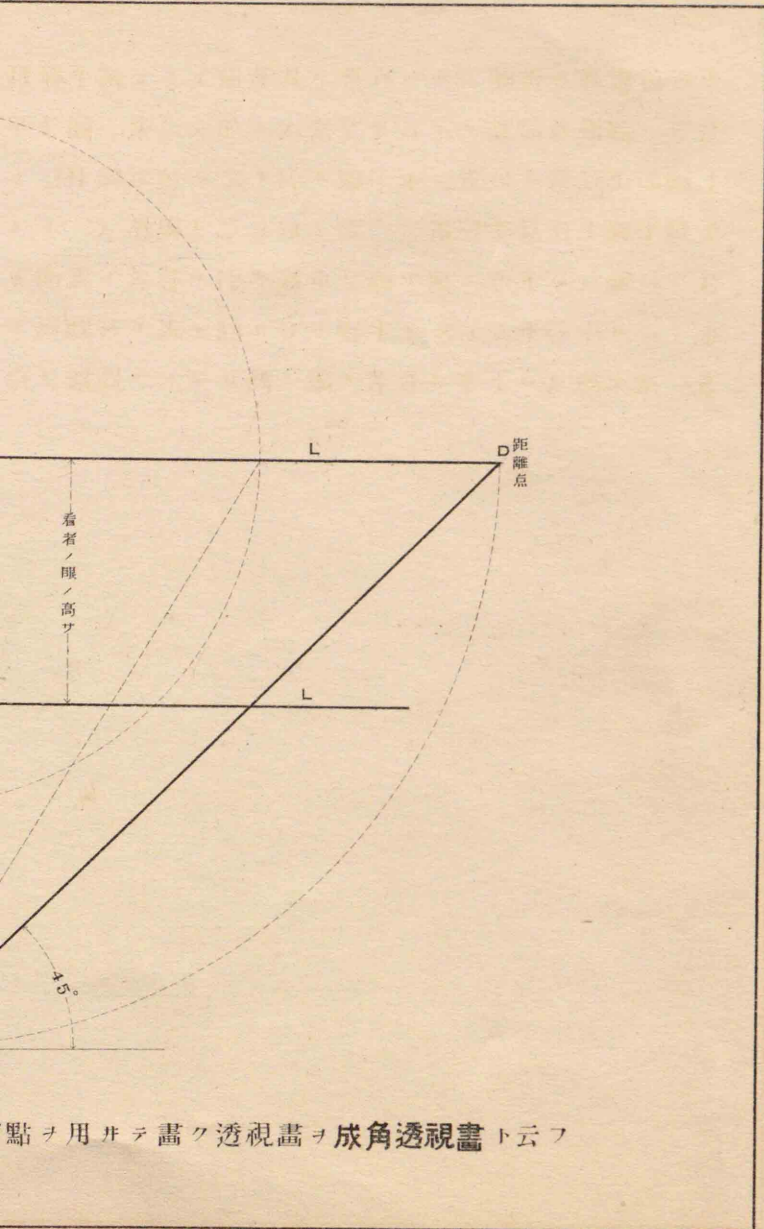
直線ハ距離點ニ消失ス

第三圖



距離點及視點ヲ用テ畫ク透視畫ヲ平行透視畫ト云ヒ其他ノ消點ヲ用テ畫ク透視畫ヲ成角透視畫ト云フ

平行透視畫ヲ作圖スルニハ常ニ其準備トシテ
 其等ノ諸線及諸點ヲ定ムル方法次ノ如シ (第
 1. 圖面上任意ノ位置ニ水平線ヲ引キ之ヲ地平線
 2. 地平線上任意ノ位置ニ一點ヲ取り之ヲ視點
 3. C點ヨリ下方ニ地平線ニ垂線ヲ引キ看者
 4. Cヲ中心トシCSヲ半径トセル圓ヲ畫キ
 5. 地平線ヨリ下方ニ看者ノ眼ノ高サダケノ



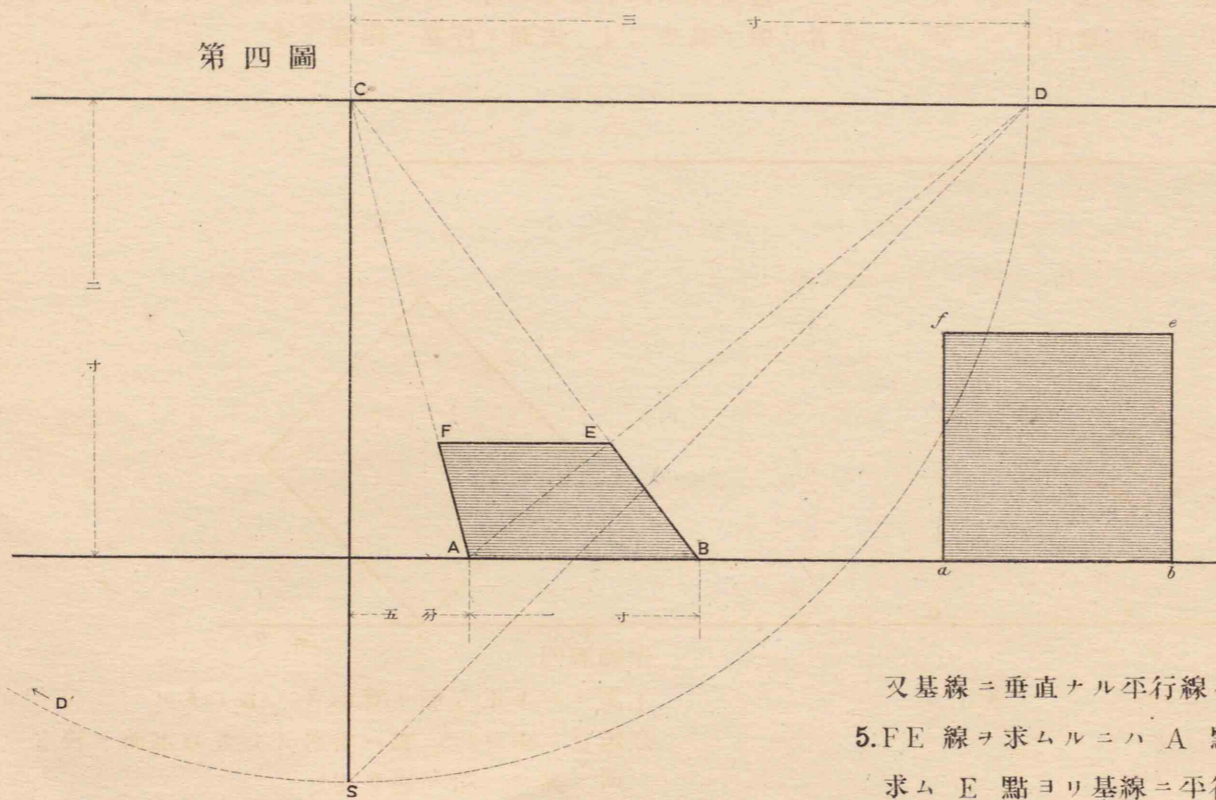
點ヲ用テ畫ク透視畫ヲ成角透視畫ト云フ

平行透視畫ヲ作圖スルニハ常ニ其準備トシテ地平線 HL 基線 GL 視點 C 停點 S 及距離點 D ヲ定ムルノ必要アリ
 其等ノ諸線及諸點ヲ定ムル方法次ノ如シ (第三圖參照)

1. 圖面上任意ノ位置ニ水平線ヲ引キ之ヲ地平線 HL トス
2. 地平線上任意ノ位置ニ一點ヲ取り之ヲ視點 C トス
3. C 點ヨリ下方ニ地平線ニ垂線ヲ引キ看者ト畫面トノ距離ヲ測レバ停點 S ヲ得
4. C ヲ中心トシ CS ヲ半径トセル圓ヲ畫キ其圓周ト地平線ト交ル點ハ距離點 D ナリ
5. 地平線ヨリ下方ニ看者ノ眼ノ高サダケノ距離ヲ以テ地平線ト平行ナル直線ヲ引ケバ基線 GL ヲ得ベシ

1 題 正方形ノ透視畫ヲ畫ク法 一邊ノ長サ一吋 一邊基線ニ接シ 一角看者ノ右五分ニアリ 面ハ地平面ニ一致シ 看者ノ眼ノ高サ二吋 畫面ト停點トノ距離三吋

第四圖



作圖說明

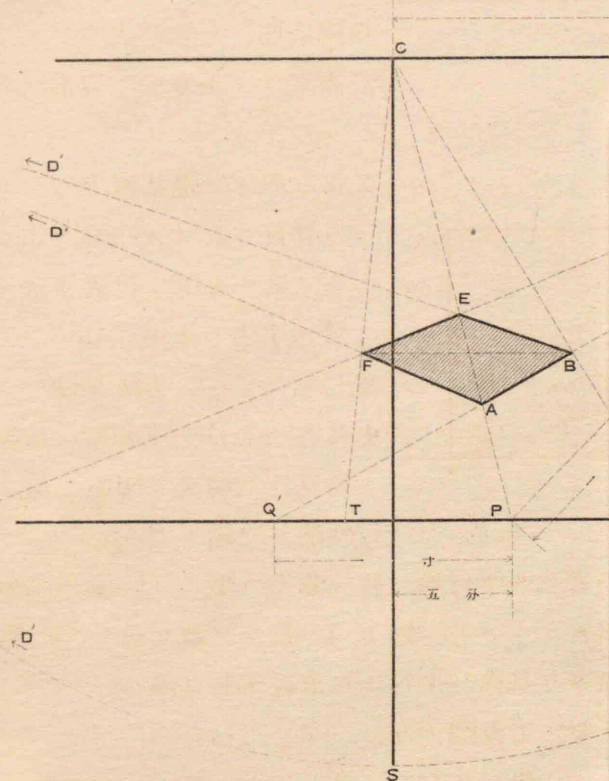
1. 畫クベキ正方形ノ實形ヲ ab , ef トス
2. 正方形ノ一邊基線上ニアル所ハ實長ヲ表ハス AB ノ如シ而シテ此ノ AB ノ位置寸法ハ題意ノ寸法ニヨル
3. CA 及ビ CB ヲ結び付ケヨ
4. 基線ニ平行ナル直線ハ基線ヲ遠カルニ從ヒテ次第ニ短クナリ遂ニ一點トナル

- 又基線ニ垂直ナル平行線ハ皆一點 C ニ集ルコトハ前述ノ如シ
5. FE 線ヲ求ムルニハ A 點ト D 點トヲ結び付ケ E 點ヲ求ム E 點ヨリ基線ニ平行ナル直線 EF ヲ畫ク
 6. $ABEF$ ハ所要ノ透視圖ナリ

注意 上圖ノ如ク D 點ハ輿行ヲ定ムルキニ必要ナル點ニシテ基線ニ於テ B 點ヨリ左方一吋ナル A 點ト D 點トヲ結び付ケテ基線ニ垂直ナル線ト E 點ニ於テ交ラシムルキハ EB ハ eb ノ實長即チ一吋ノ長サノ直線ヲ透視圖ニテ表ハシタルモノナリ

又 A 點ヨリ基線上ニ於テ左方一吋ノ處ニ一點ヲ設ケ D 點ト結び付クルトキハ其ノ線ハ必ズ AC 線ト F 點ニ於テ交ルベシ

2 題 正方形ノ透視畫ヲ畫ク法 後方一吋ニアリ 面ハ地平面 第五圖

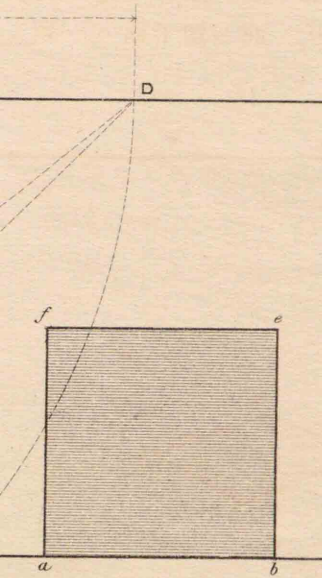


4. T 及 Q 點ハ C ト連結ス
6. TC 線及 AD' 線ノ交點 F 點ト D 點トヲ連
8. FD 線及 BD' 線トノ交點 E 點ヲ求ム

注意 此問題ハ正方形ノ一邊基線ト或角ヲ以テ平行透視畫法ニテ畫キタリ

一邊基線ニ接シ、一角看者ノ右五分ニアリ、

畫面ト停點トノ距離三寸



作圖説明

1. 畫クベキ正方形ノ實形ヲ ab, ef トス
2. 正方形ノ一邊基線上ニアル所ハ實長ヲ表ハス AB ノ如シ而シテ此ノ AB ノ位置寸法ハ題意ノ寸法ニヨル
3. CA 及ビ CB ヲ結び付ケヨ
4. 基線ニ平行ナル直線ハ基線ヲ遠カルニ從ヒテ次第ニ短クナリ遂ニ一點トナル

又基線ニ垂直ナル平行線ハ皆一點 C ニ集ルコトハ前述ノ如シ

E 線ヲ求ムルニハ A 點ト D 點トヲ結び付ケ E 點ヲ

求ム E 點ヨリ基線ニ平行ナル直線 EF ヲ畫ク

$ABEF$ ハ所要ノ透視圖ナリ

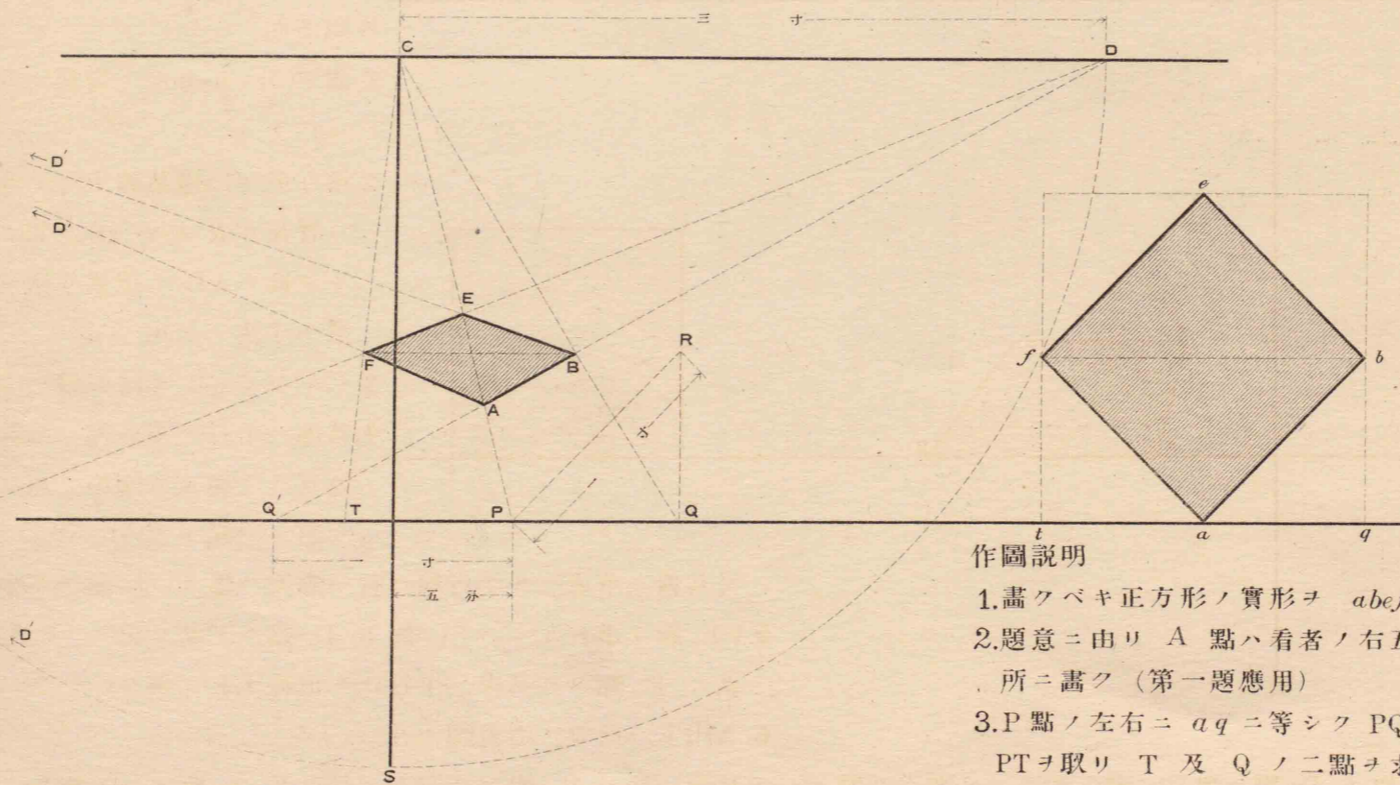
線ニ於テ B 點ヨリ左方一寸ナル A 點ト D 點トヲ

eb ノ實長即チ一寸ノ長サノ直線ヲ透視圖ニテ表ハシ

ルトキハ其ノ線ハ必ズ AC 線ト F 點ニ於テ交ルベシ

2 題 正方形ノ透視畫ヲ畫ク法、一邊ノ長サ一寸、一邊基線ト四十五度ノ角ヲナシ、一角看者ノ右五分畫面ノ後方一寸ニアリ、面ハ地平面ニ一致シ、看者ノ眼ノ高サ二寸、畫面ト停點トノ距離三寸

第五圖



4. T 及 Q 點ハ C ト連結ス
6. TC 線及 AD' 線ノ交點 F 點ト D 點トヲ連結ス
8. FD 線及 BD' 線トノ交點 E 點ヲ求ム

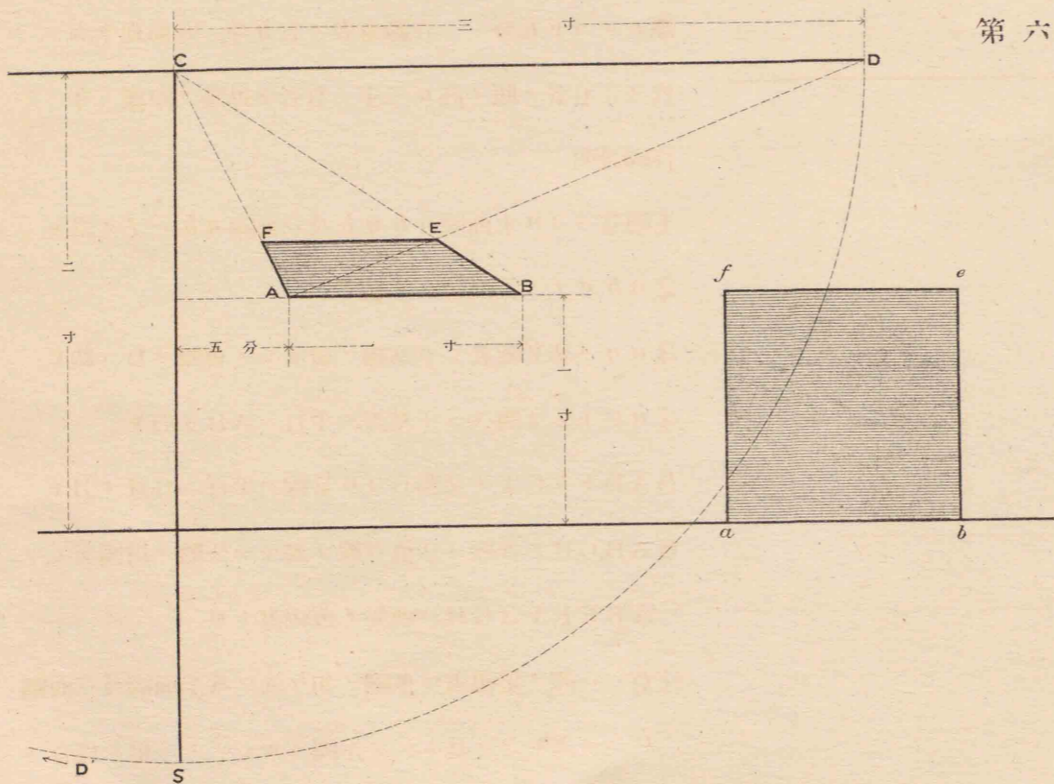
注意 此問題ハ正方形ノ一邊基線ト或角度ヲ以テ傾クヲ以テ成角投影畫トシテ取り扱ヒ得ルモノナルモ其傾キ四十五度ナルヲ以テ平行透視畫法ニテ畫キタリ fb 線ハ基線ニ平行ナルヲ以テ其透視圖 FB モ亦基線ト平行ス

作圖説明

1. 畫クベキ正方形ノ實形ヲ $abef$ トス
2. 題意ニ由リ A 點ハ看者ノ右五分畫面ノ後方一寸ノ所ニ畫ク (第一題應用)
3. P 點ノ左右ニ aq ニ等シク PQ ヲ取り at ニ等シク PT ヲ取り T 及 Q ノ二點ヲ求ム
5. A 點ト D 及 D' 點トヲ連結ス
7. QC 線及 AD 線トノ交點 B 點ト D 點トヲ連結ス
9. $FABE$ ハ求ムル所ノ透視圖ナリ

3 題 正方形ノ透視畫ヲ畫ク法 一邊ノ長サ一寸 一邊畫面ニ接シ基線上一寸ノ高サニアリ 一角看者ノ右五分ニアリ 面ハ地平面ニ平行ス 看者ノ眼ノ高サ二寸 畫面ト停點ノ距離三寸

第六圖

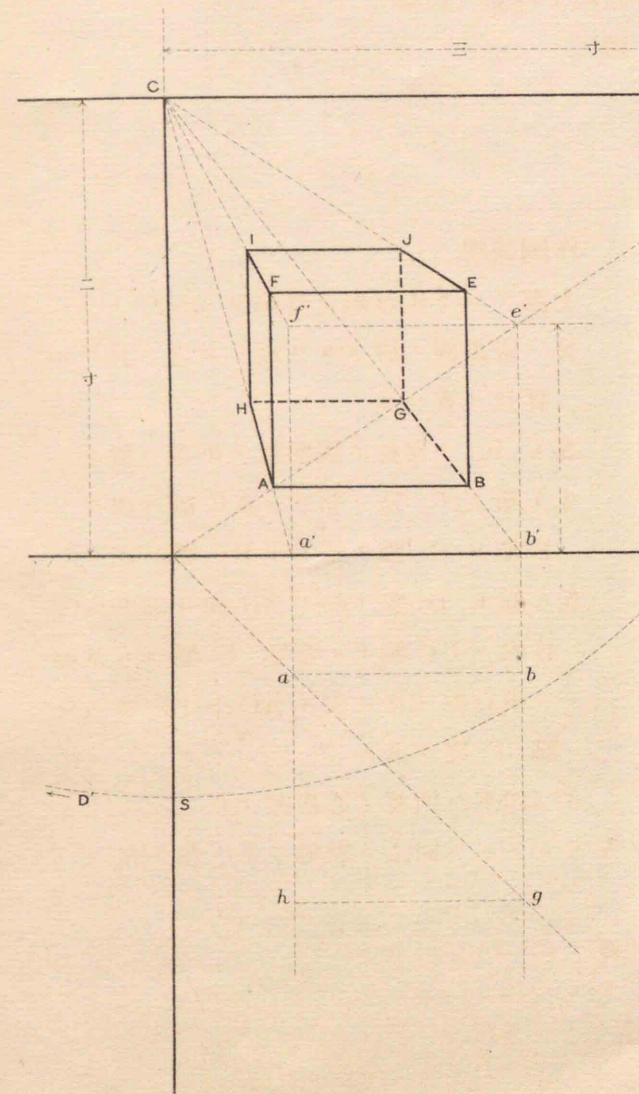


作圖說明

1. 畫クベキ正方形ノ實形ヲ $abef$ トス
2. 一邊畫面ニ接スルヲ以テ其邊ノ長サハ實長ヲ表ハス
3. A, B. ヲ實長ノ儘題意ノ位置ニ置ク
4. A 點ト C 點ヲ結ビテ AC 線ヲ畫キ B 點ト C 點ヲ結ビテ BC 線ヲ畫ク
5. A 點ト D 點ヲ結ビ AD 線ヲ畫キ A D 線ト BC 線トノ交點 E 點ヨリ基線ニ平行線 FE ヲ引キ AC ト FE トノ交點 F 點ヲ求ム
6. ABEF ハ所要ノ透視圖ナリ

注意 1. 以上ノ例題ニテハ透視圖ハ常ニ看者ノ右ニアルモ問題ニ於テ看者ノ左方トアレバ同法ヲ應用シテ C 點ノ左ニ D 點ヲ取り其透視圖ヲ畫キ得ベシ
 2. 透視圖地平線ノ上部ニアル場合ニ於テモ同様ナル方法ニテ透視圖ヲ求メ得ベシ

第七圖



面ニ接シ基線上一寸ノ高サニアリ、一角看者ノ
 高サ二寸、畫面ト停點ノ距離三寸

第六圖

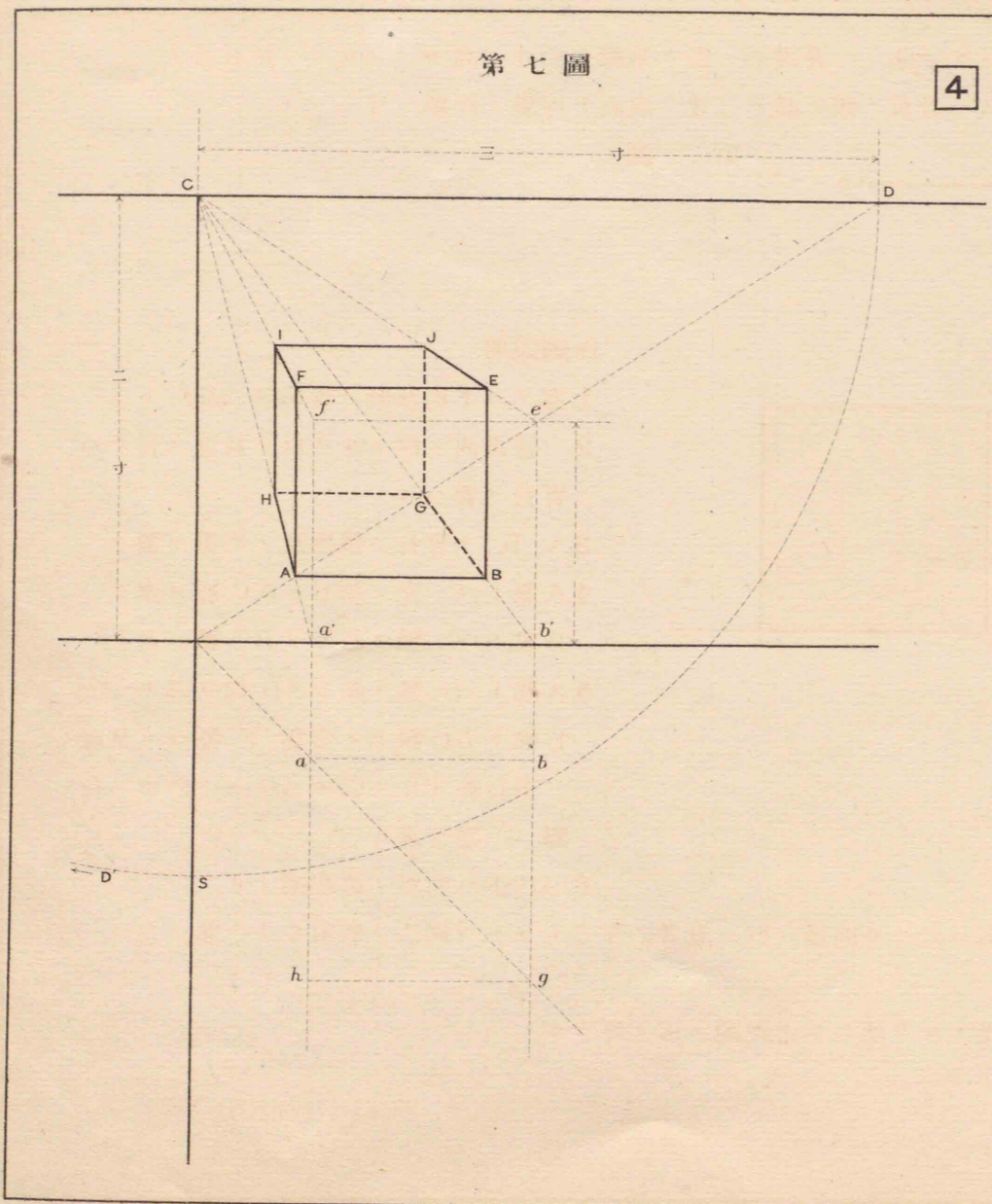
作圖說明

1. 畫クベキ正方形ノ實形ヲ $abef$ トス
2. 一邊畫面ニ接スルヲ以テ其邊ノ長サハ
實長ヲ表ハス
3. A, B. ヲ實長ノ儘題意ノ位置ニ置ク
4. A 點ト C 點ヲ結ビテ AC 線ヲ畫キ
B 點ト C 點ヲ結ビテ BC 線ヲ畫ク
5. A 點ト D 點ヲ結ビ AD 線ヲ畫キ A
D 線ト BC 線トノ交點 E 點ヨリ基線
ニ平行線 FE ヲ引キ AC ト FE トノ交
點 F 點ヲ求ム
6. AB, EF ハ所要ノ透視圖ナリ

於テ看者ノ左方トアレバ同法ヲ應用シテ C 點ノ左ニ

視圖ヲ求メ得ベシ

第七圖



4 題 立方體ノ透視畫ヲ畫ク法 一稜ノ長サ一寸 一面畫面ヲ

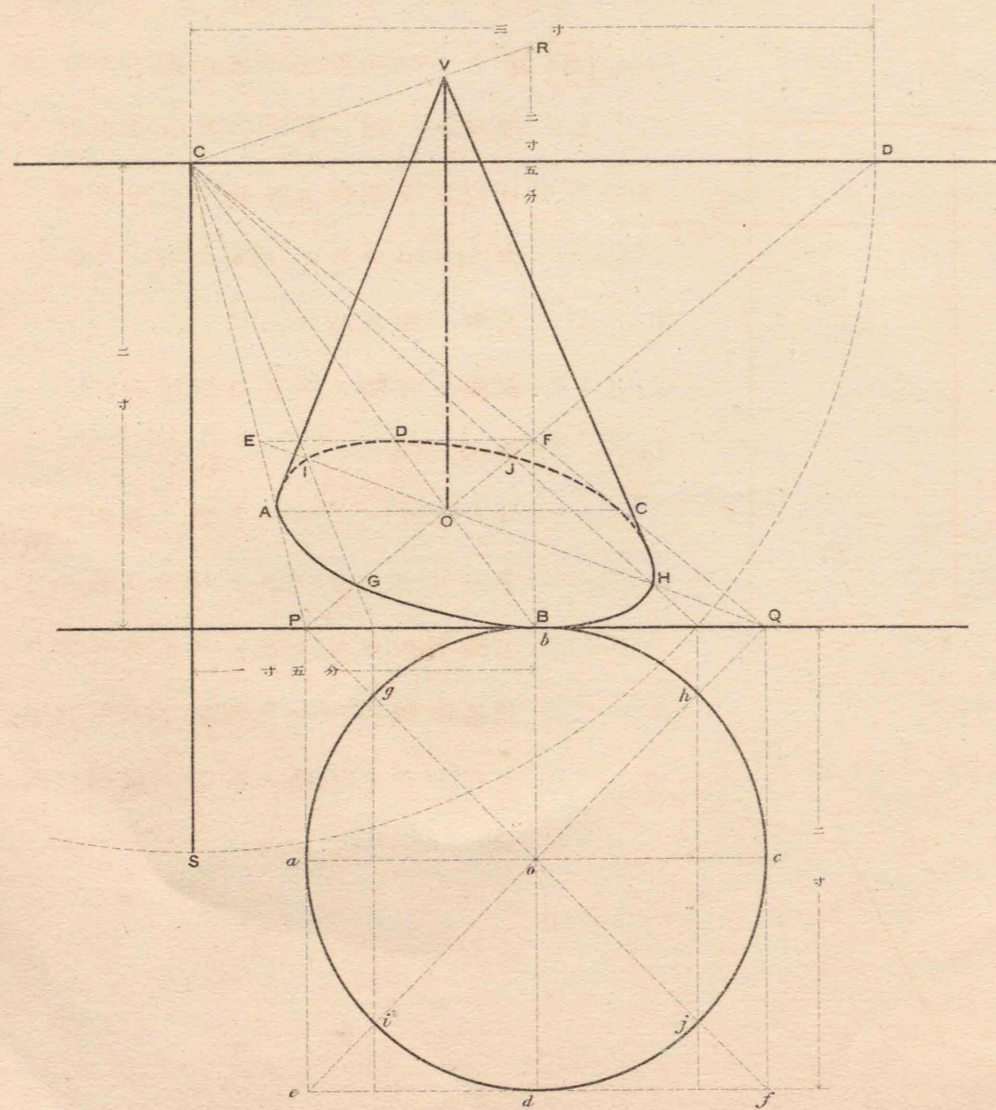
離ル、コト五分 一立線看者ノ右五分、底面地平面ニ一
 致ス 看者ノ眼ノ高サ二寸 看者ト停點ノ距離三寸

作圖說明

1. 題意ニヨリ平面圖 $abgh$ 及立面圖 $a'b'e'f'$ ヲ畫キ
2. $a'b'e'f'$ ノ各點ヲ C ニ結ビ
3. ag ノ結ビ延長シテ基線ニ會セシメ會點ヲ D ニ結ビ
4. $a'C$ トノ交點 A ヲリ基線ニ平行ニ AB ヲ引キ
5. AD ト $b'C$ トノ交點 G ヲリ基線ニ平行ニ GH ヲ引キ
6. AB, GH ノ各點ヨリ直立線ヲ畫キテ全體ヲ構圖スレバ
 AB, EF, I, J, GH ハ所要ノ透視畫ナリ

(注意) 立體ノ透視畫ハ本圖ノ如ク先ツ其平面圖及立面圖
 ヲ畫キ之ヲ基トシテ作圖スルモノトス但シ場合ニ
 ヲリ一部ヲ省略スルコトアリ

第八圖

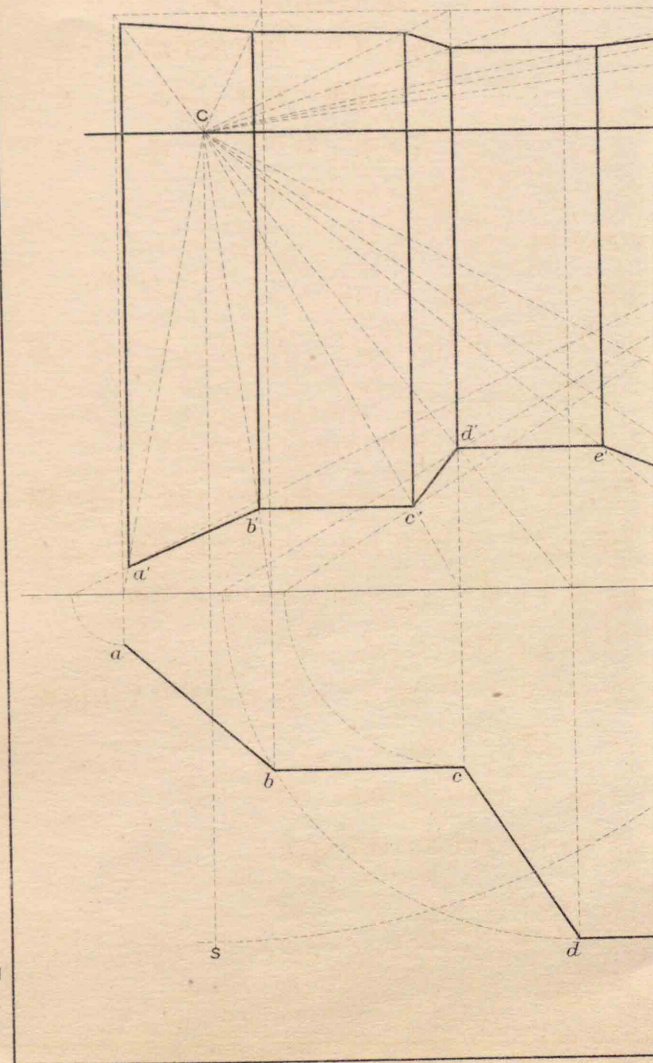


5 題 圓錐ノ透視畫ヲ畫ク法 底ノ
徑二寸 底ノ圓周ノ一點畫面
ニ接シテ看者ノ右一寸五分ノ
所ニアリ 圓底地平面ト一致
ス、圓錐ノ高サ二寸五分 看
者ノ眼ノ高サ二寸 畫面ト停
點ノ距離三寸

作圖說明

1. 畫クベキ圓錐ノ平面圖ヲ *abcd* トス
2. *abcd* ナル圓形ヲ *PQef* ナル正方形ヲ以テ取
リ圍ムベシ
3. *PQef* ノ平行透視圖 *PQEF* ヲ畫ケ
4. *PQef* 内ニ於ケル *agbhcjdi* ナル圓形ト同シ關
係ヲ以テ *AGBHCJDI* ナル圓ノ透視圖ヲ畫ケ
5. *b* 點ヨリ垂線 *bR* ヲ引キ其線上ニ基線ヨリ二
寸五分ヲ測リ *R* 點ヲ求メヨ
6. 底面ノ中心 *O* 點ヨリ垂線 *OV* ヲ引キ *CR* 線
トノ交點 *V* 點ヲ求メヨ
7. *V* 點ヨリ底面ノ透視圖ニ接線ヲ引ケ
8. *VAGBH* ハ所要ノ透視圖ナリ

第九

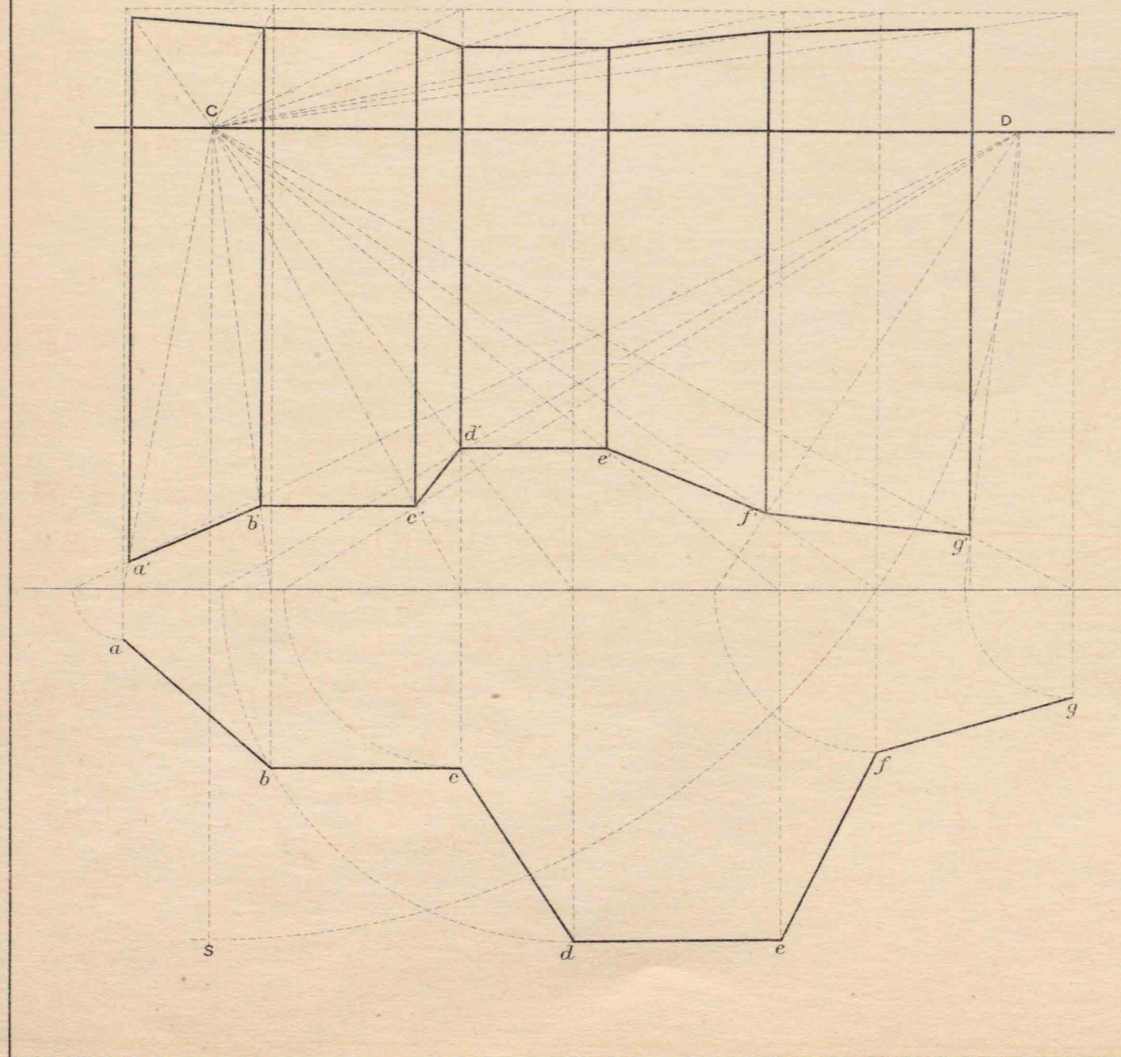


5 題 圓錐ノ透視畫ヲ畫ク法 底ノ
徑二寸 底ノ圓周ノ一點畫面
ニ接シテ看者ノ右一寸五分ノ
所ニアリ 圓底地平面ト一致
ス、圓錐ノ高サ二寸五分 看
者ノ眼ノ高サ二寸 畫面ト停
點ノ距離三寸

作圖說明

1. 畫クベキ圓錐ノ平面圖ヲ $abcd$ トス
2. $abcd$ ナル圓形ヲ $PQef$ ナル正方形ヲ以テ取
リ圍ムベシ
3. $PQef$ ノ平行透視圖 $PQEF$ ヲ畫ケ
4. $PQef$ 内ニ於ケル $agbhejdi$ ナル圓形ト同シ關
係ヲ以テ $AGBHCJDI$ ナル圓ノ透視圖ヲ畫ケ
5. b 點ヨリ垂線 bR ヲ引キ其線上ニ基線ヨリ二
寸五分ヲ測リ R 點ヲ求メヨ
6. 底面ノ中心 O 點ヨリ垂線 OV ヲ引キ CR 線
トノ交點 V 點ヲ求メヨ
7. V 點ヨリ底面ノ透視圖ニ接線ヲ引ケ
8. $VAGBH$ ハ所要ノ透視圖ナリ

第九圖

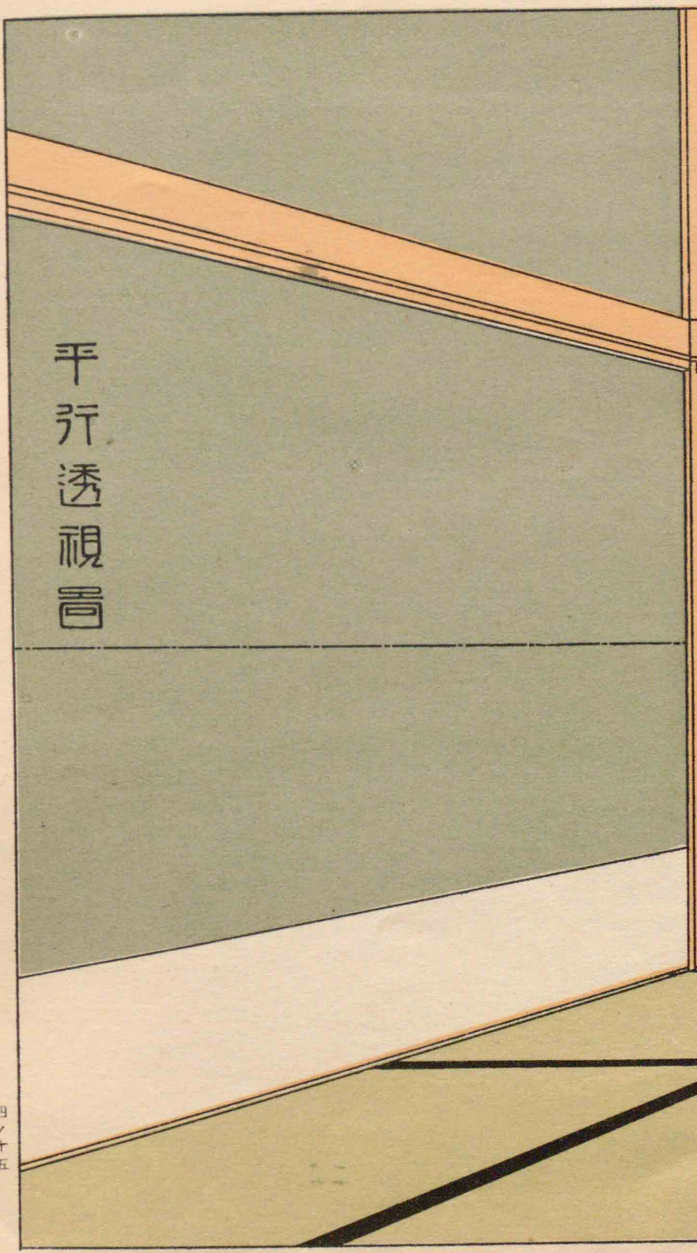
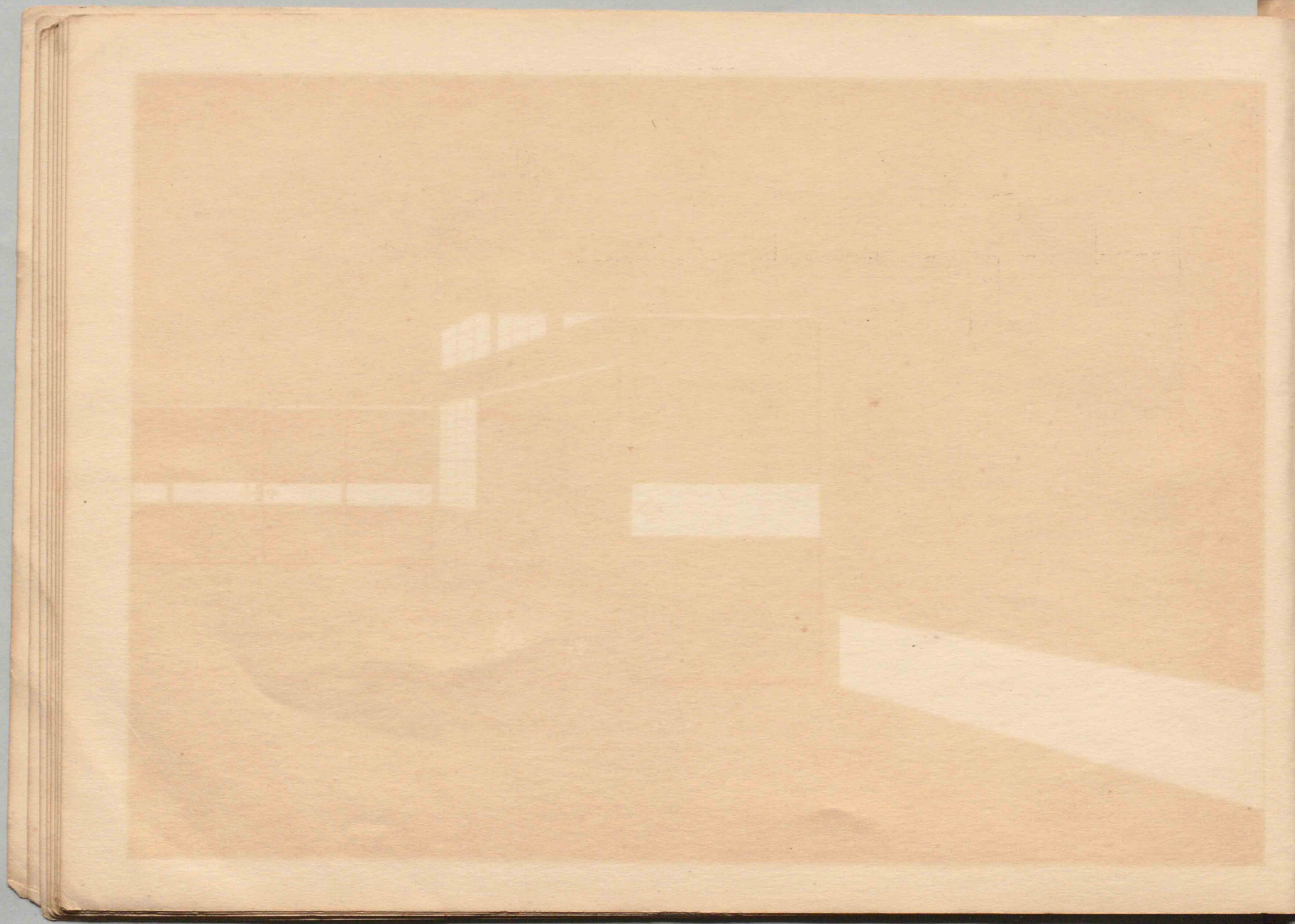


6 題 立テタル屏風ノ透視畫ヲ畫ク法

屏風ノ一面ハ長サ二尺五寸巾九寸
其位置及曲折セル角度ハ平面圖ニ
與ヘラレタルモノトス
看者ノ眼ノ高サ二尺
畫面ト停點トノ距離三尺五寸

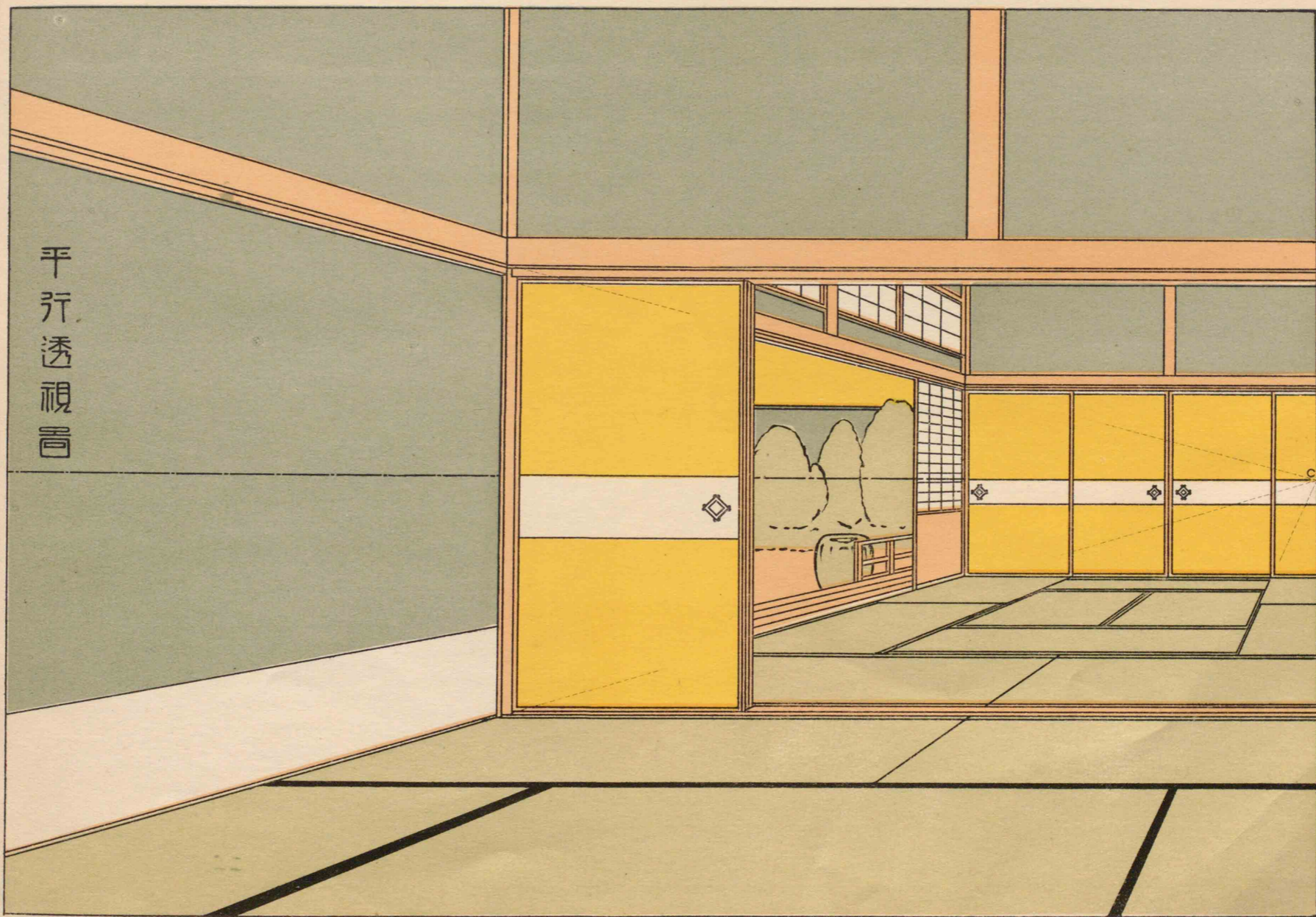
作圖說明

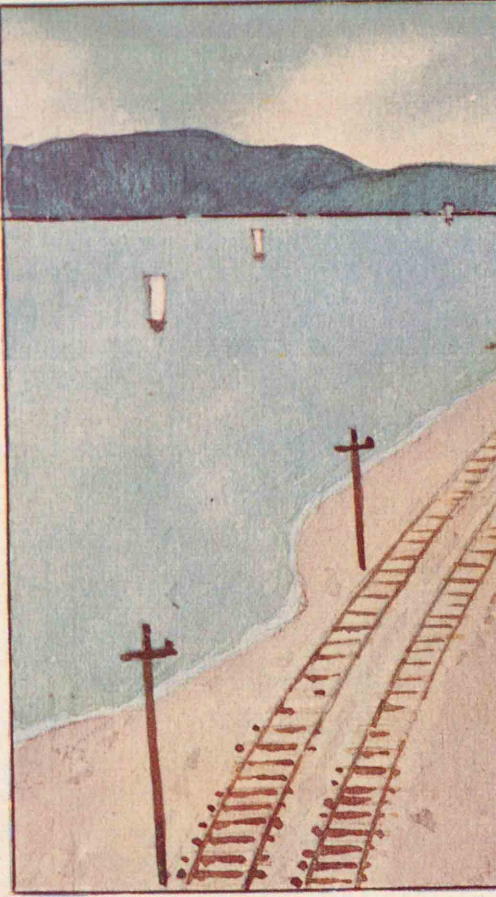
$abcd$ efg ノ各點ノ透視圖 a'
 b' c' d' e' f' g' ヲ求メ其迄ニ於テ地
平面ニ直立セル定長ノ直線ヲ考ヘ
其透視圖ヲ畫キテ連結スレバ自カ
ラ作り得ルヲ以テ詳細ノ説明ヲ略
ス

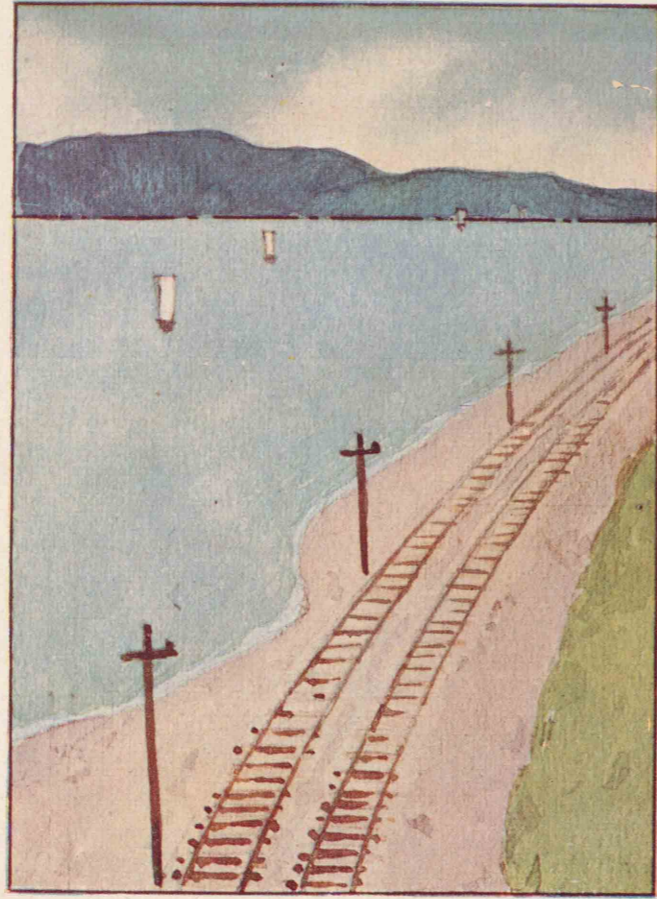


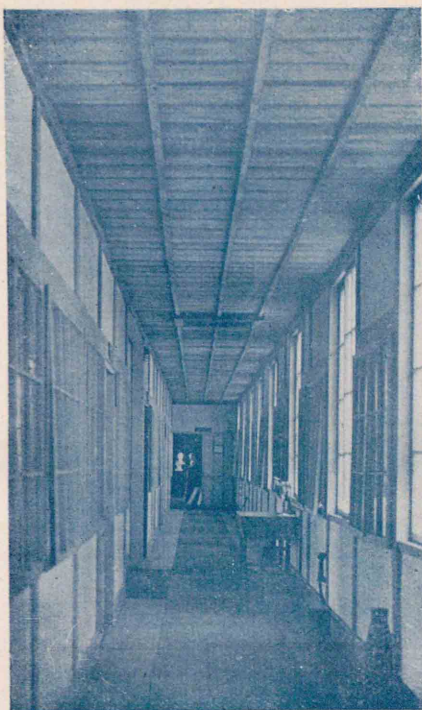
平行透視圖

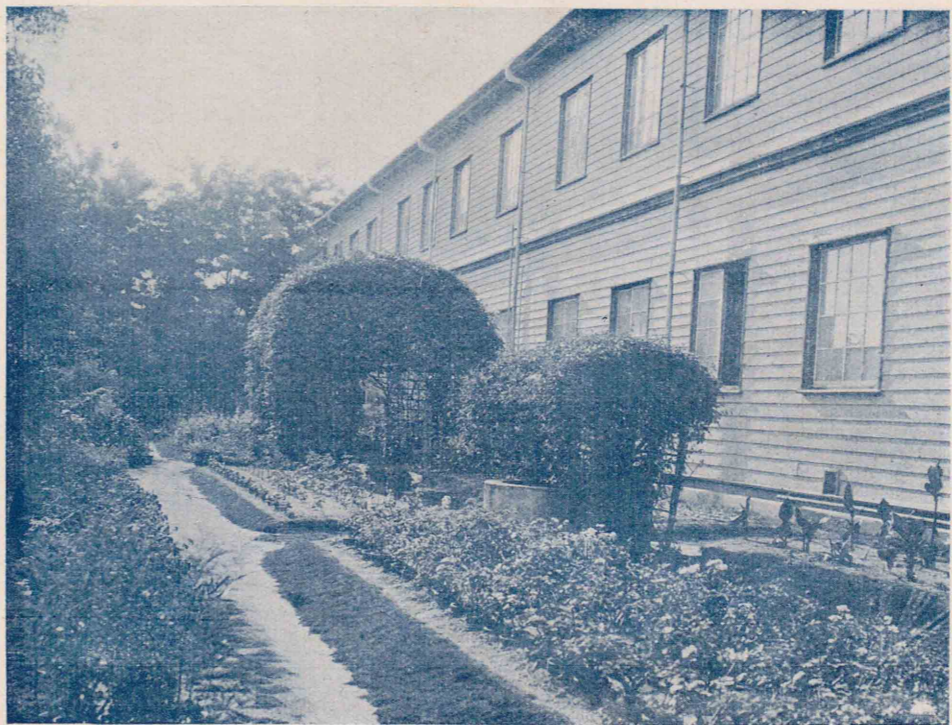
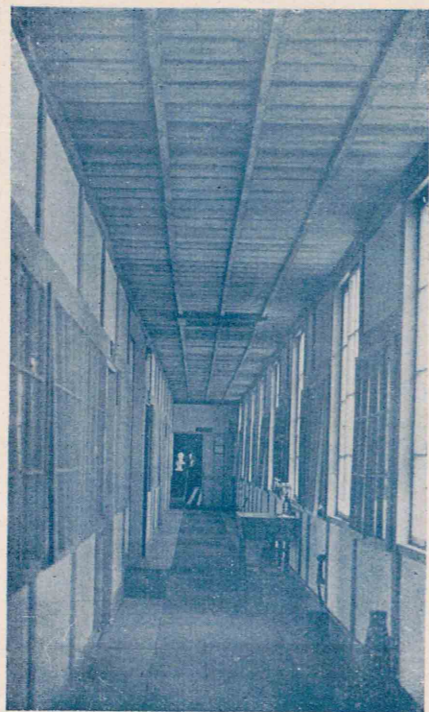
平行透視圖

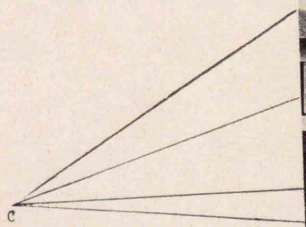
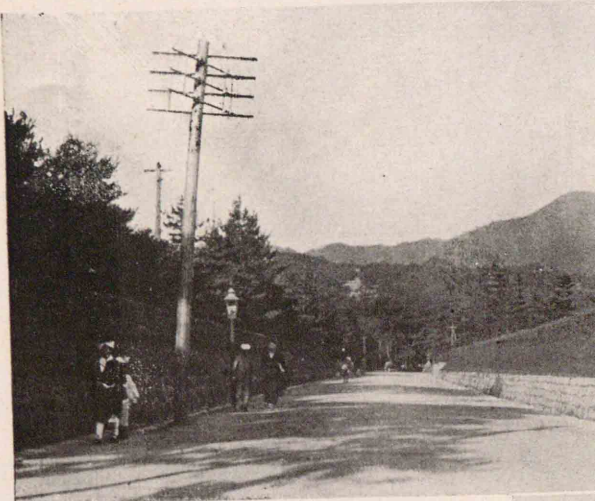
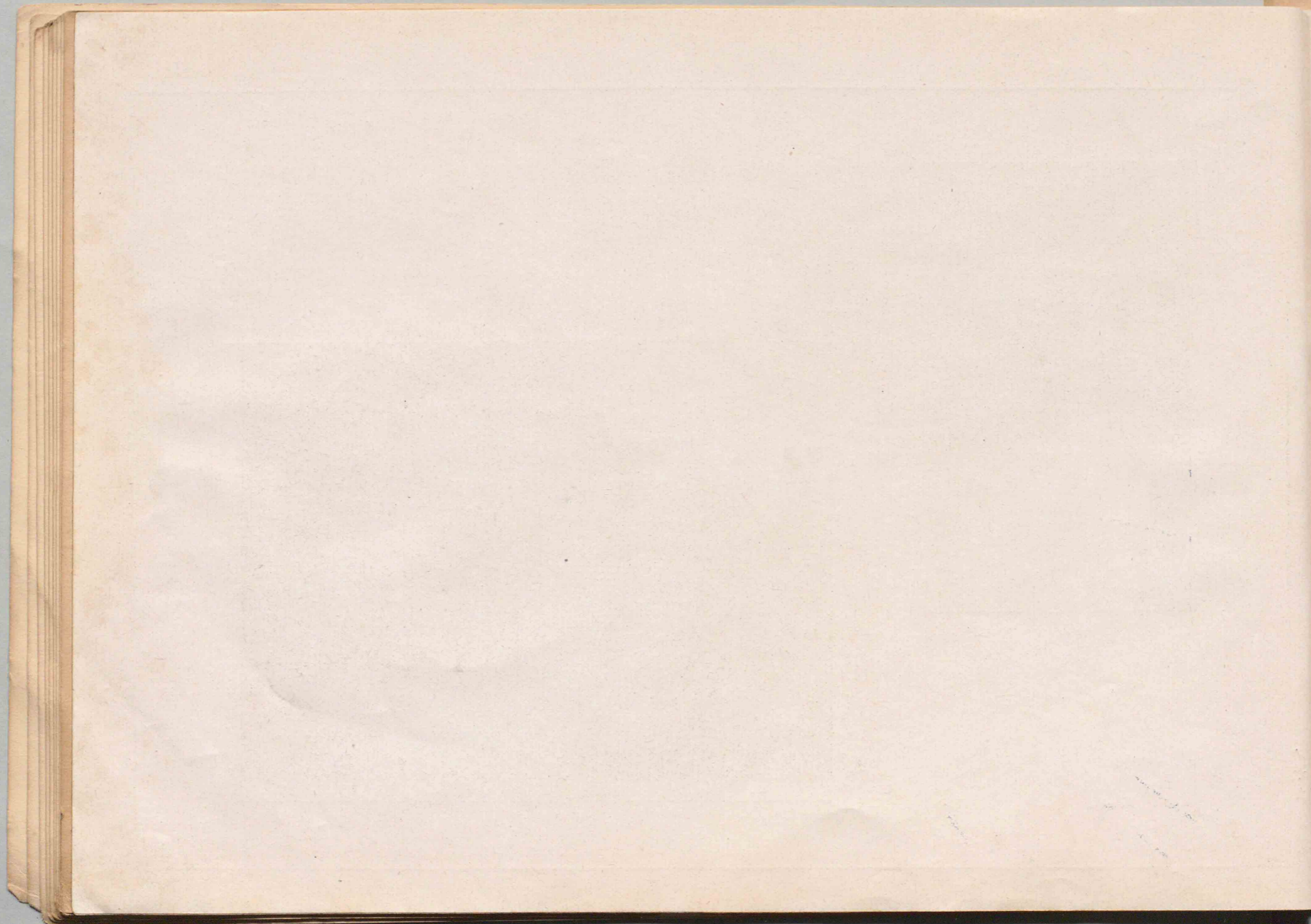




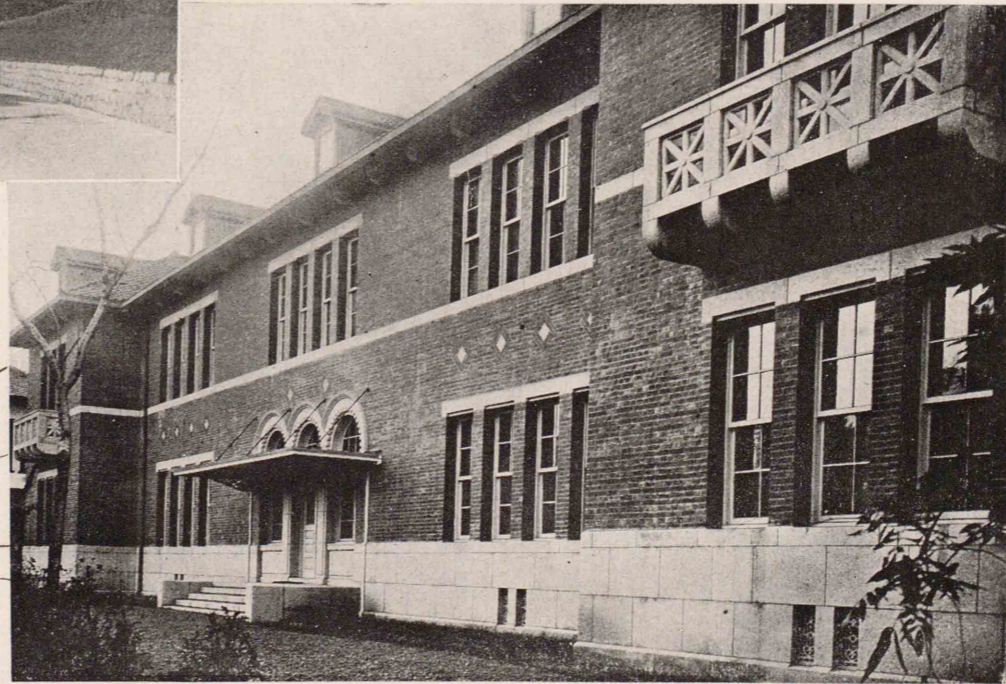








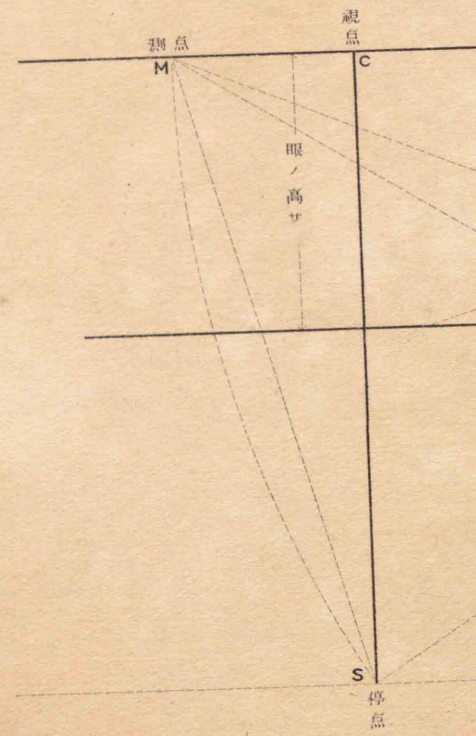
四ノ二十一



四ノ二十一

成角透視畫法ハ平行透視畫法ノ應用ト考ウルヲ得
水平面中ニアル直線ノ消點ハ其ノ線ト平行ニ看者

第十圖



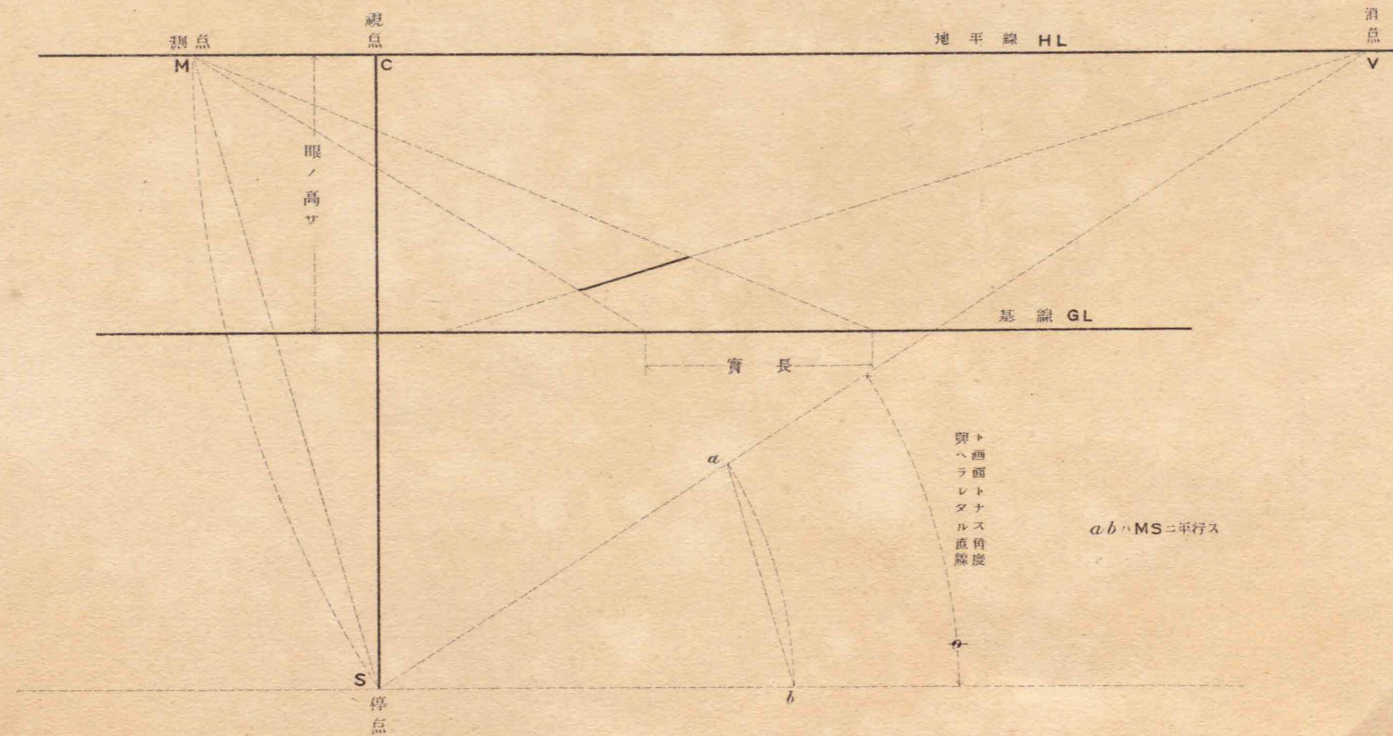
タル直線ニ平行線ヲ引キ其ノ線ト地平線ト交リ
透視畫ニ畫カレタル直線ノ長サヲ知ルニハ測點
セル圓ヲ畫キ其ノ弧線ガ地平線ト交ル點 M 即
線ヲ引キ其ノ二線ト透視直線ト交レル二點間ノ

成角透視畫

成角透視畫法ハ平行透視畫法ノ應用ト考ウルヲ得ベシ

水平面中ニアル直線ノ消點ハ其ノ線ト平行ニ看者ノ眼ヨリ引キタル直線ガ地平線ト交ル點ナリ 作圖ニテハ停點ヨリ與ヘラレ

第十圖



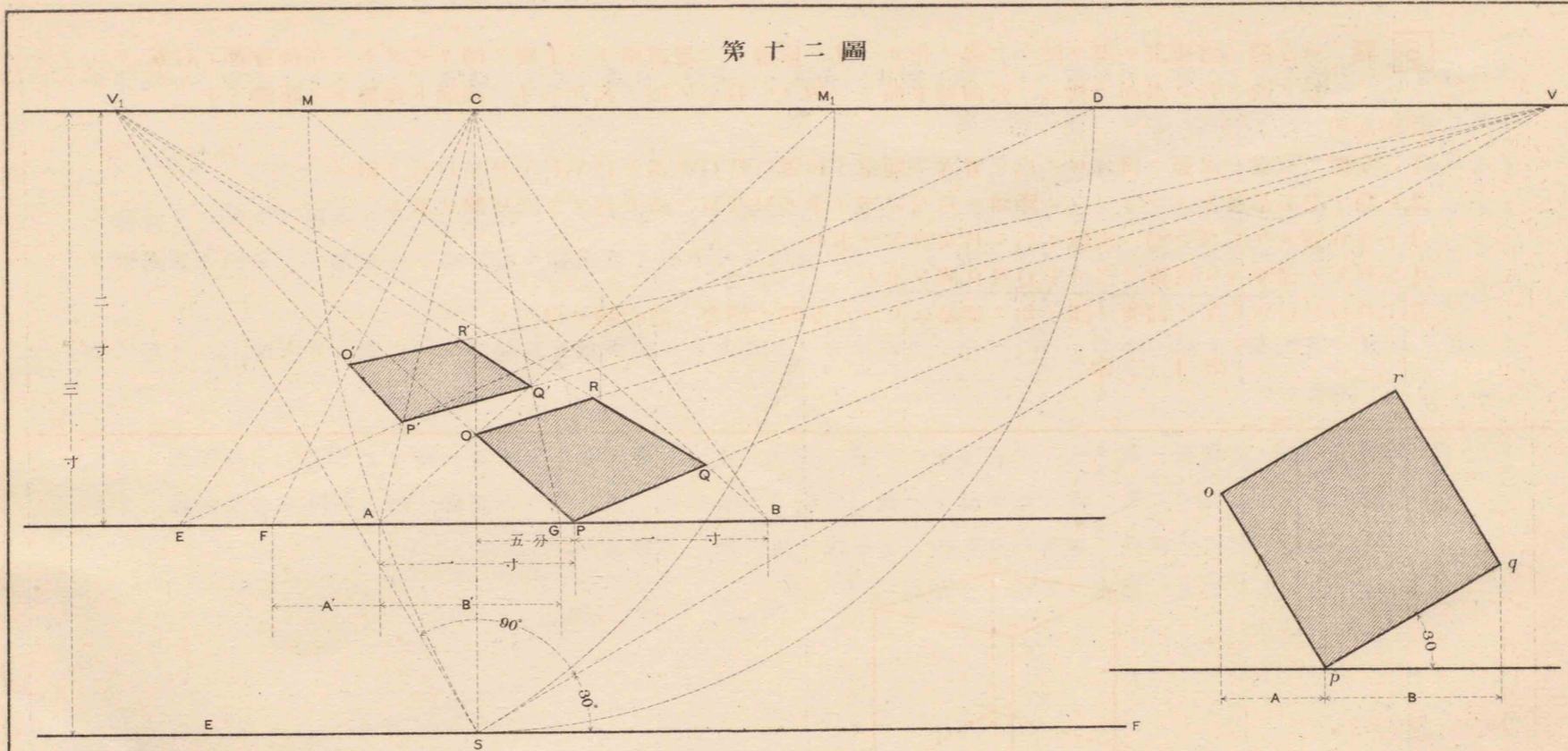
タル直線ニ平行線ヲ引キ其ノ線ト地平線ト交リタル點ヲ消點トナシ V ヲ以テ之ヲ表ハス

透視畫ニ畫カレタル直線ノ長サヲ知ルニハ測點 (M ヲ以テ之ヲ表ハス) ヲ用フルヲ便利トス測點トハ V ヲ中心トシ VS ヲ半徑ト

セル圓ヲ畫キ其ノ弧線ガ地平線ト交ル點 M 卽テ之レナリ之ヲ使用スルニハ直線ノ實長ヲ基線上ニ取リ其ノ兩端ヨリ M ニ直

線ヲ引キ其ノ二線ト透視直線ト交レル二點間ノ長サハ卽テ所要ノ長ナリ

第十二圖



作圖說明

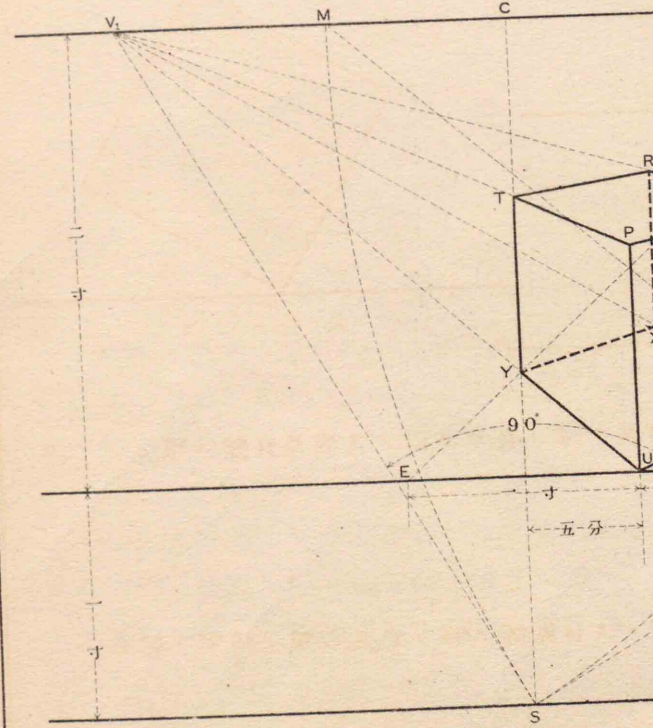
1. P點ヲ題意ノ位置ニ取リテPV及ビPV₁ヲ結ビ付ケ然ル後ニ基線上ニ實長一寸ノ長サヲ以テA點及B點ヲ求ム
AM₁及ビBM₁ヲ結ビ付ケテ交點O及ビQヲ求ム
2. OV及ビQV₁ヲ結ビ付クレバRナル交點ヲ得
3. OPQRナル四角形ハ所要ノ透視圖ナリ(OPQRハ正方形ノ實形ナリ)
4. 左五分A點ノ左一寸ノ所ニE點ヲ定メ距離點ニ結ビ又A點ノ左右ニ實體ノA'B'距離ヲ移シF, A, G點ト消點ト結ビ
5. AC線ニP'ノ交點ヲ生ズ此點ハ求ムル一角點ナレハ餘ハ前法ト異ナルナシ

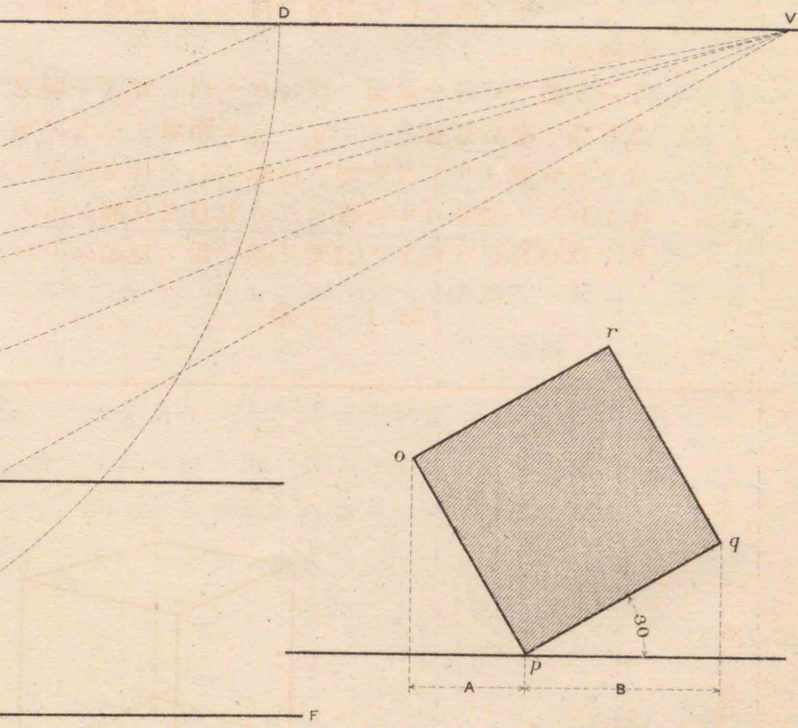
8 題 立方體ノ透視畫ヲ畫ク法 一邊
分ノ所ニ於テ畫面ニ接ス 底面

作圖說明

1. 立方體ノ一稜ハ畫面ニ接スルヲ以テ實
2. U點ノ左右基線上ニ一寸ツツノ距離ニ
3. Y及W點ヨリV及V₁點ニ直線ヲ引キ其
4. YWXノ諸點ヨリ垂線ヲ立テT, Q及I
5. T, R, O, P, U, W, X, Yノ諸點ヲ圖ノ如ク

第十三圖





基線上ニ實長一寸ノ長サヲ以テA點及B點ヲ求ム

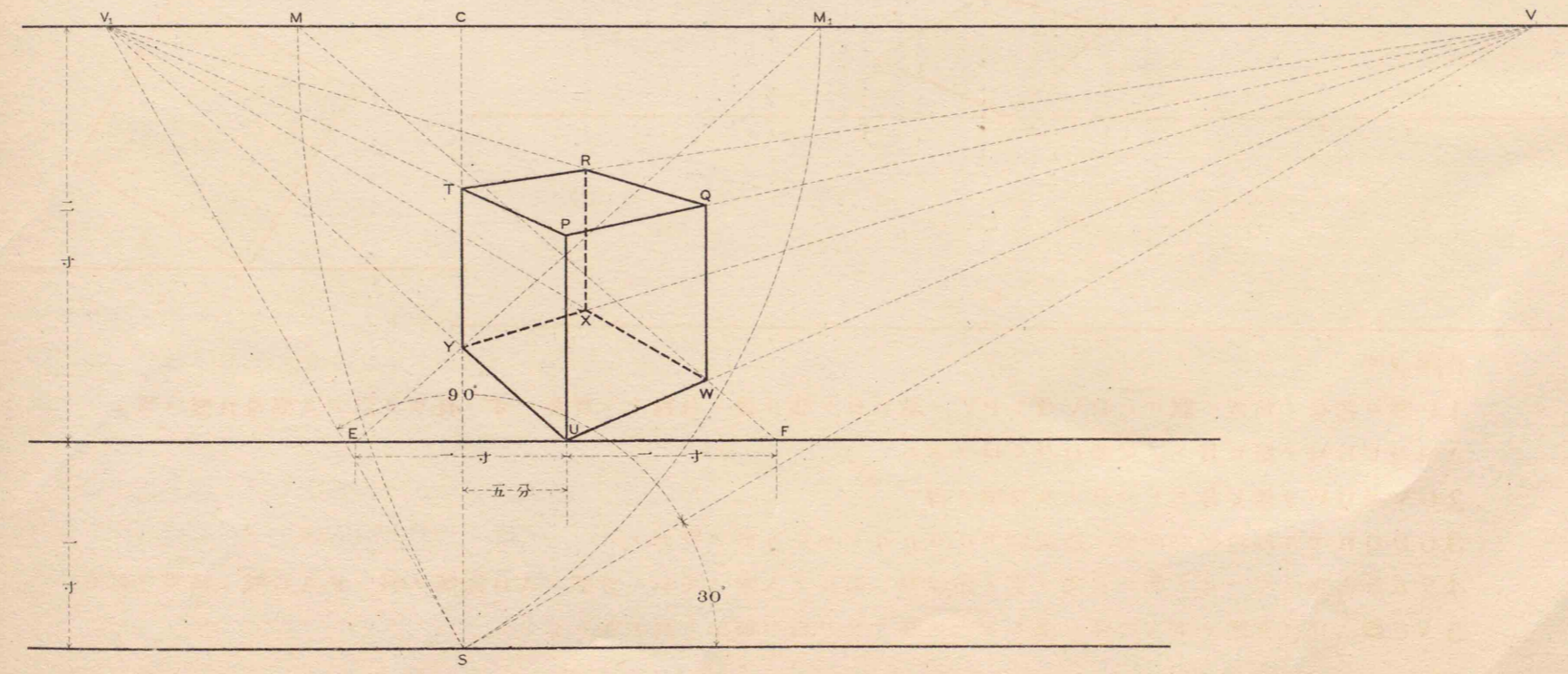
ノ實形ナリ)
ノ左右ニ實體ノA'B'距離ヲ移シF,A,G點ト消點ト結ビ
法ト異ナルナシ

8 題 立方體ノ透視畫ヲ畫ク法、一邊ノ長サ一寸、底邊ノ一邊畫面ト三十度ノ傾キヲナシ一立棱看者ノ右五分ノ所ニ於テ畫面ニ接ス、底面地平面ニ一致ス、看者ノ眼ノ高サ二寸、畫面ト停點トノ距離三寸

作圖說明

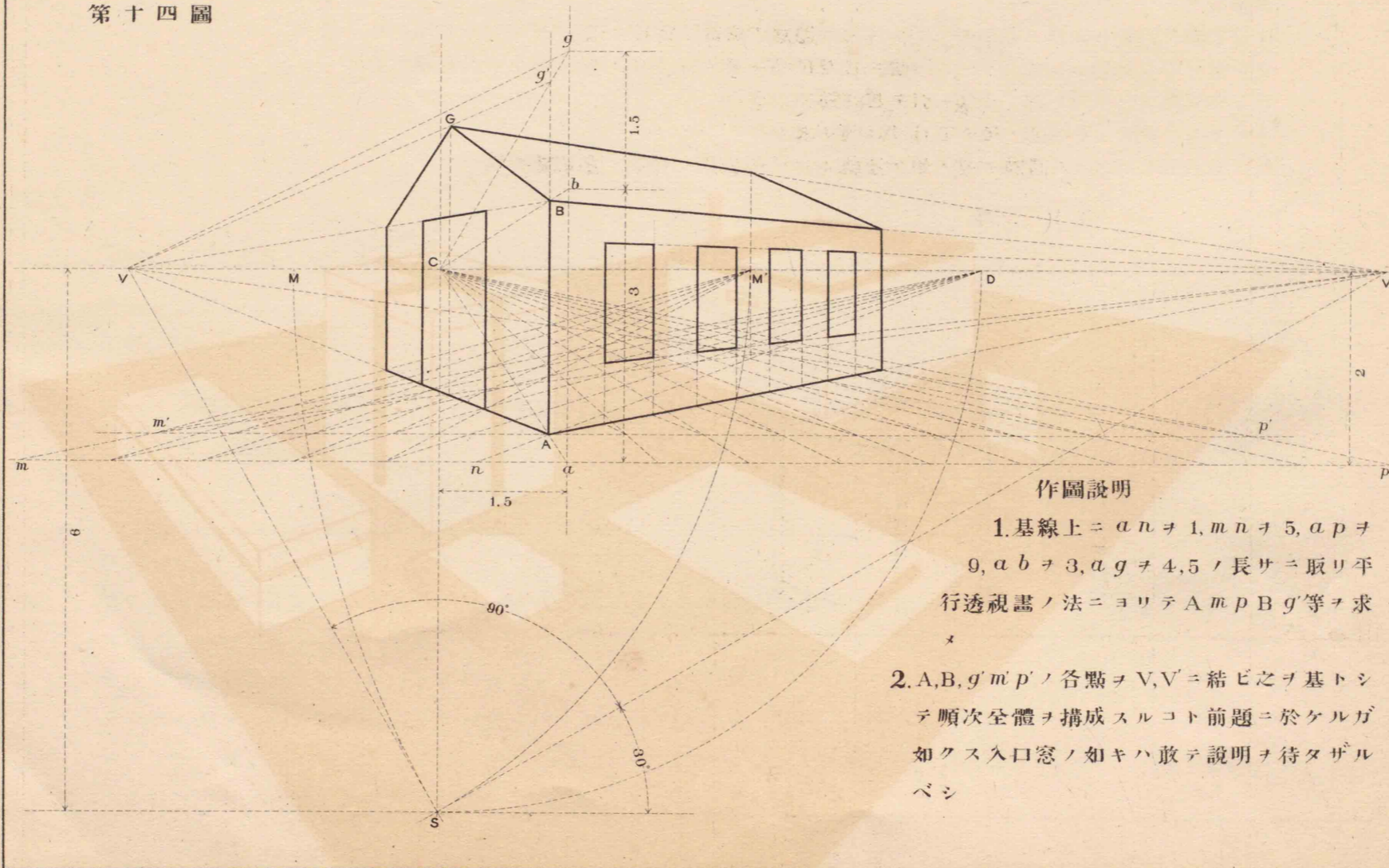
- 1.立方體ノ一棱ハ畫面ニ接スルヲ以テ實大ニ題意ノ位置ニP Uヲ畫キP V,U V,P V₁,U V₁ヲ結ブ
- 2.U點ノ左右基線上ニ一寸ツツノ距離ニE及F點ヲ求メM₁及Mニ結ビ付ケY及W點ヲ求ム
- 3.Y及W點ヨリV及V₁點ニ直線ヲ引キ其交點Xヲ求ム
- 4.Y,W,Xノ諸點ヨリ垂線ヲ立テT,Q及R點ヲ求ム
- 5.T,R,O,P,U,W,X,Yノ諸點ヲ圖ノ如ク連結スレバ立方體ノ所要ノ透視圖ヲ得ベシ

第十三圖



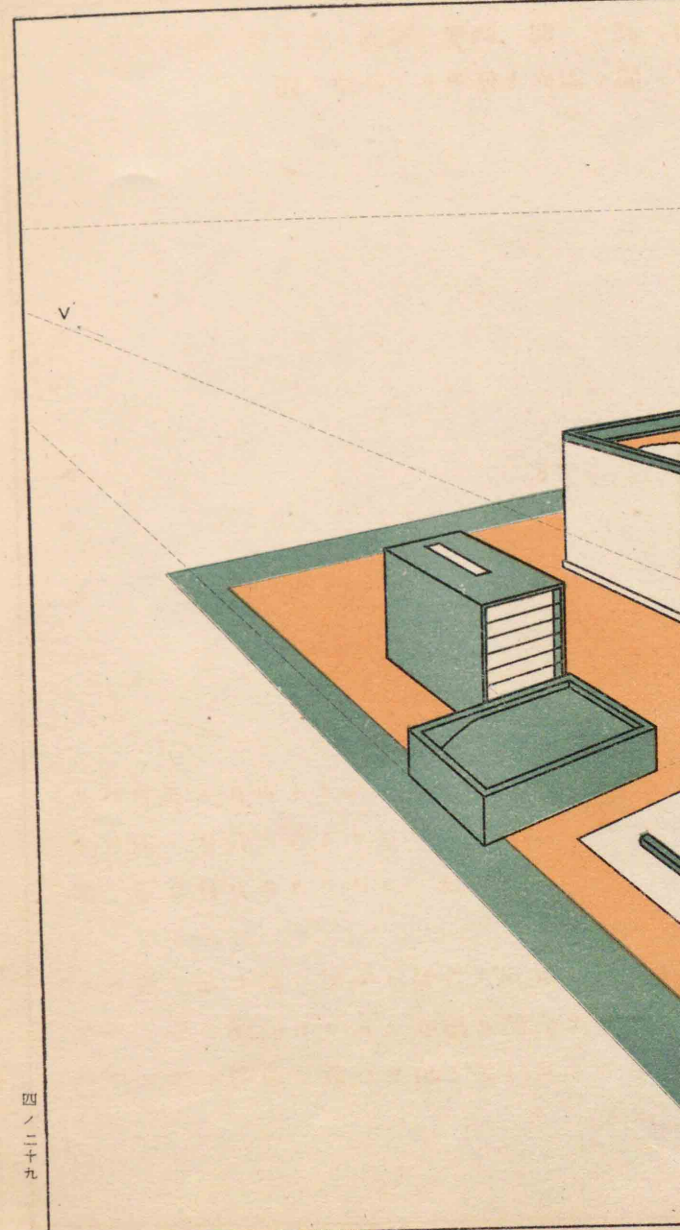
9 題 家屋ノ透視畫ヲ畫ク法 間口五間 奥行九間 棟ノ高サ四間半 軒ノ高サ三間 側壁ハ畫面ト三十度ノ傾キヲナシ 一隅角ハ畫面ヲ距ルコト一間ノ右方一間半ニアリ 看者ノ眼ノ高サ二間 畫面ト停點トノ距離六間

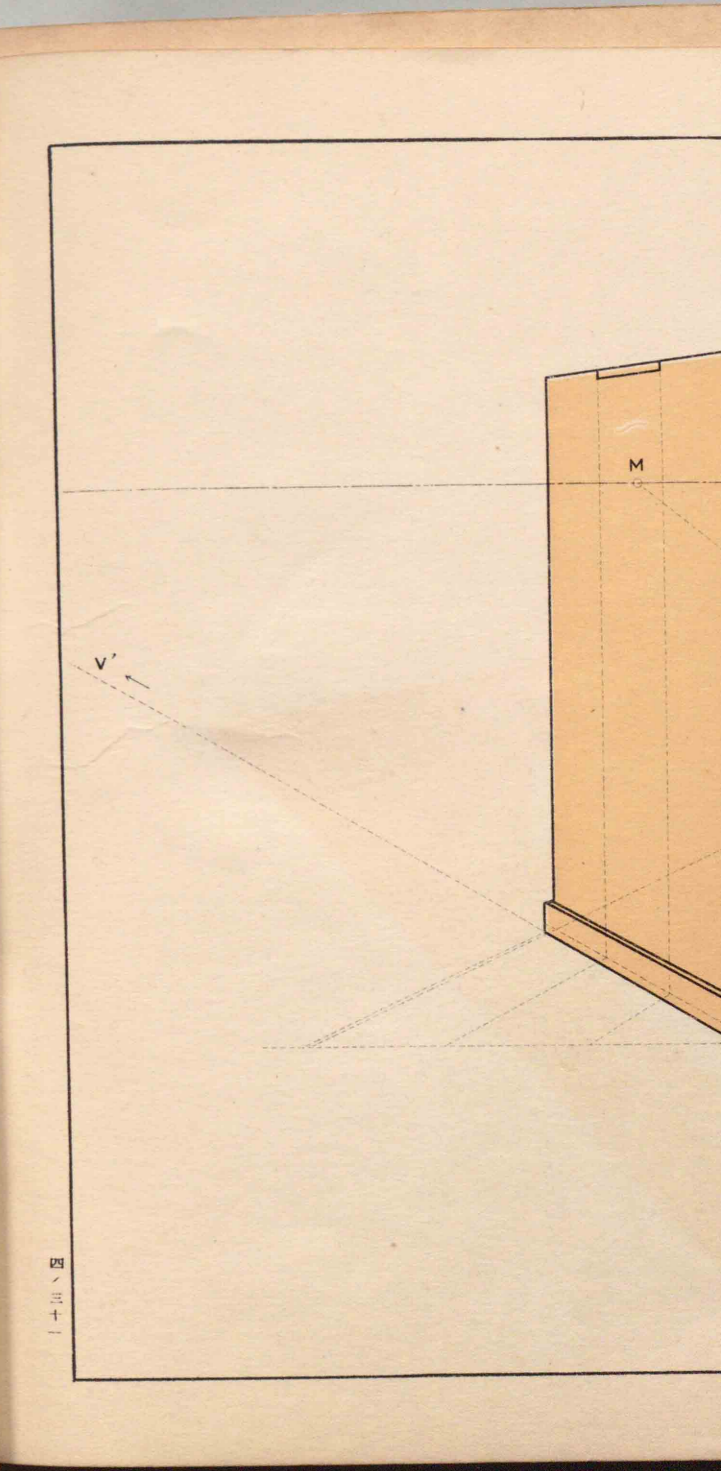
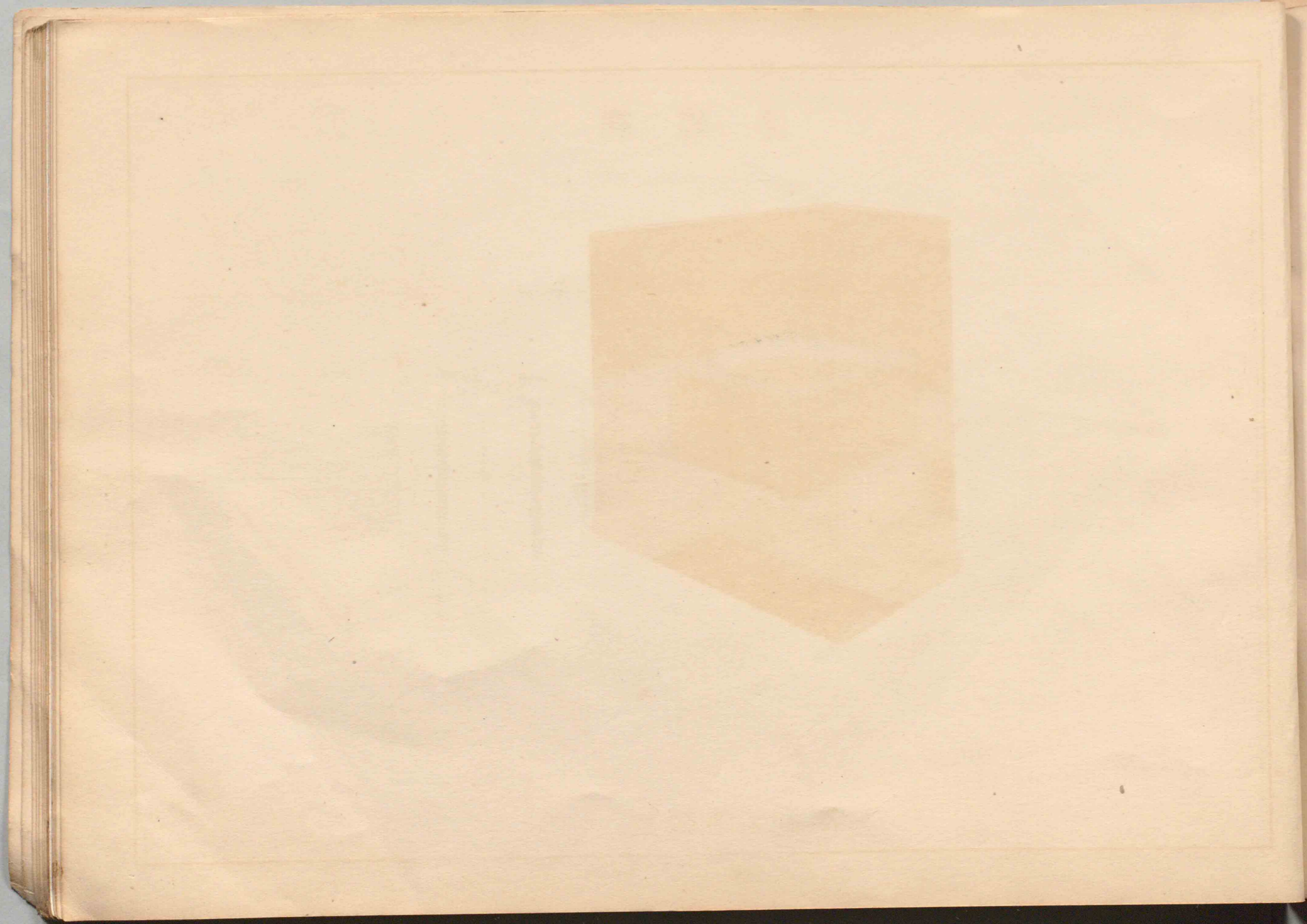
第十四圖

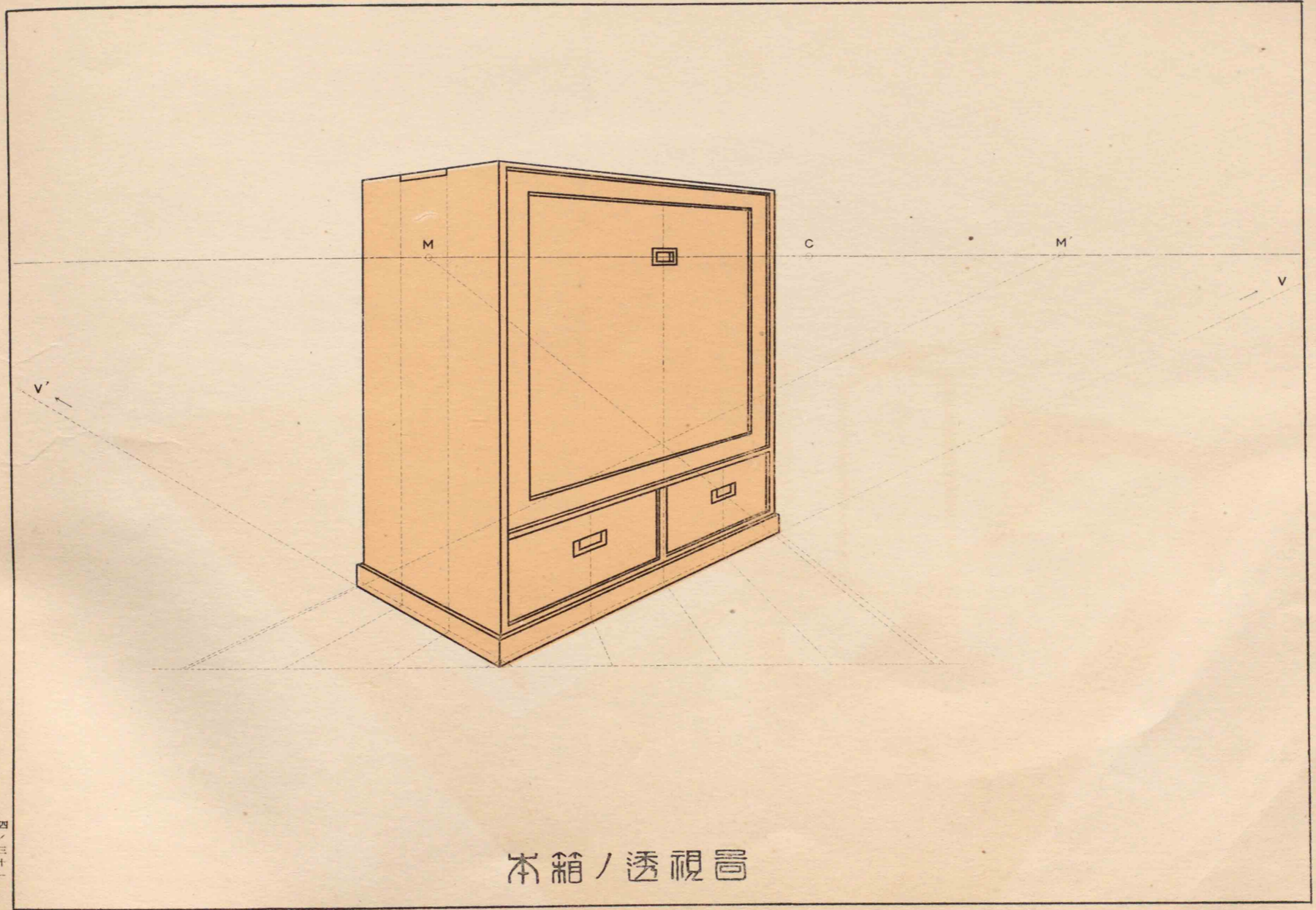


作圖說明

1. 基線上ニ an ヲ 1, mn ヲ 5, ap ヲ 9, ab ヲ 3, ag ヲ 4.5 ノ長サニ取リ平行透視畫ノ法ニヨリテ $AmpB g'$ 等ヲ求メ
2. $A, B, g' m' p'$ ノ各點ヲ V, V' ニ結ビ之ヲ基トシテ順次全體ヲ構成スルコト前題ニ於ケルガ如クス入口窓ノ如キハ敢テ説明ヲ待タザルベシ



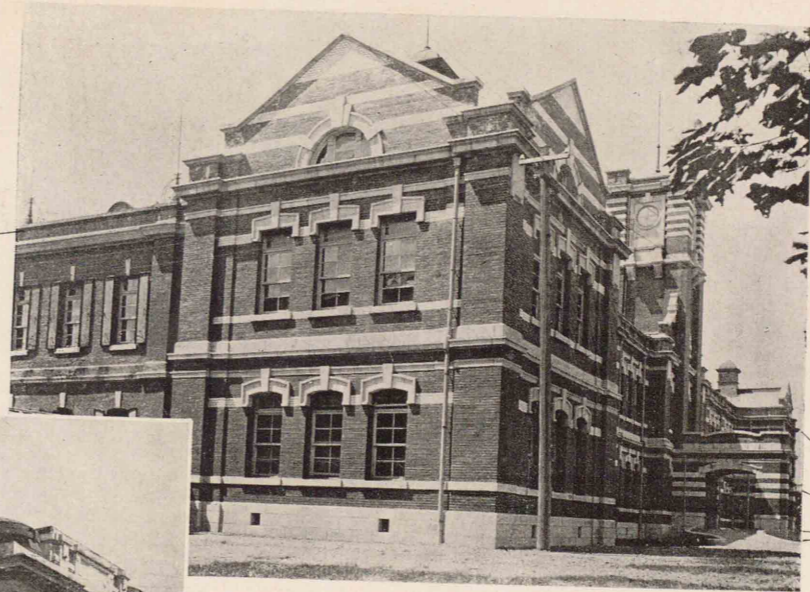
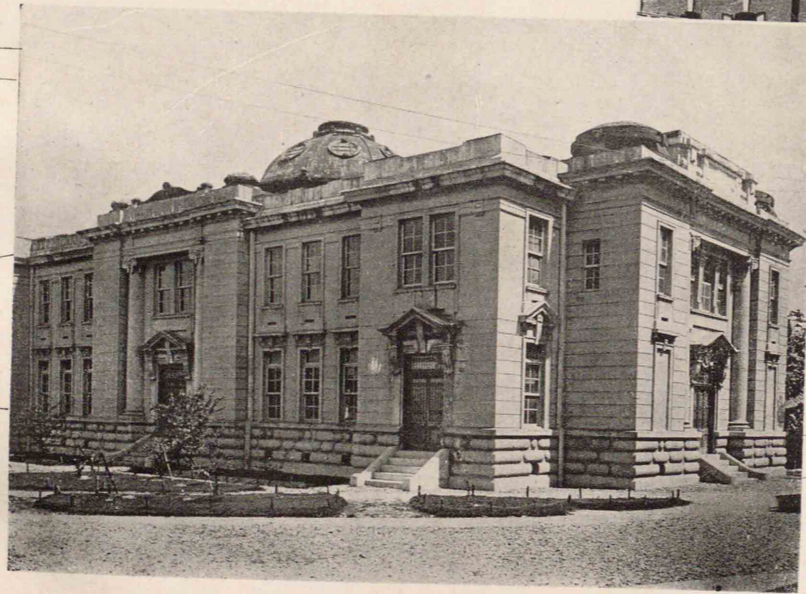




本箱ノ透視圖



四ノ三十三



四ノ三十三

大正十二年一月二十三日

大正十四年十月十五日	大正十四年十二月十五日	大正十四年十二月二十日	大正十四年九月十五日	大正十四年九月二十日	大正十四年十二月廿五日
發行	訂正再版	訂正再版	訂正再版	訂正再版	訂正再版
印刷	發行	發行	發行	發行	發行

著者

武

田

五

大正十三年定價

金六拾八錢

定價金參拾八錢

透視畫

發行所

振替 大阪南區安堂寺橋通三丁目一〇番地
大正 大阪南區安堂寺橋通三丁目一〇番地
東京 東京神田區表神保町十番地

株式會社 積善館

印刷所 株式會社 積善館印刷所

大阪市東區石町二丁目五十四番地

代表者 專務取締役 佃 要三郎

著作權所有



發行者 株式會社 積善館

大阪市南區安堂寺橋通三丁目五十三番地

著者 武田五一

大正十一年十二月廿五日修正四版發行
大正十一年十二月二十日修正四版發行
大正十一年九月十日修正三版發行
大正十一年九月五日修正三版發行
大正四年十二月二十日訂正再版發行
大正四年十二月十五日訂正再版發行
大正四年十月十五日發行
大正四年十月十日發行

透視圖 定價金參拾八錢
大正十三年 定價金六拾八錢

